令和2年度（2020年度）

ユニセフ活動の手引き

新学習指導要領
“主体的・対話的で深い学び”の実践に！



ユニセフ DVD 学習教材

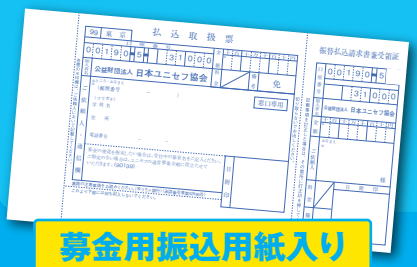
授業で使える！
SDGsのアニメーションなどを収録！





各種 申込書・依頼書入り！

- ユニセフ資料申込書
- ユニセフハウス訪問依頼書
- 街頭募金申請依頼書
- 講師派遣依頼書



募金用振込用紙入り

unicef

公益財団法人
日本ユニセフ協会

ポスターを使って話し合ってみよう！

すべての子どもに、［　　］を。



あなたは、どんなスポーツや遊びが好きですか？ それをしているときはどんな気持ちですか？

世界の子どもたちも、みんなと同じようにスポーツや遊びを楽しんでいます。しかし、生きる環境や背景はさまざまです。

世界の子どもたちは、どんな暮らしをしていて、
どんなことを思っているのかな？
そして、世界の子どもたちに必要なことは何だろう？
ユニセフと一緒に考えよう！

アフリカの国　コンゴ



© UNICEF/UN0281606/Dejongh

サッカーは人気があるよ！
サッカーボールはないけれど、手作りのボールがあるよ。
いつも学校の帰りに友だちとサッカーをするのが楽しみなんだ。

「コンゴ」が名前に含まれる国はアフリカに2つ、隣り合って存在しています。「コンゴ」と「コンゴ民主共和国」という国です。写真は「コンゴ」の南部にあるブエンザ地方の子どもたち。コンゴは、治安や各種感染症の発生・流行の懸念があり、子どもたちが暮らすには厳しい環境です。世界中どこに生まれても、子どもたちの命と健やかな成長を守るために、ユニセフは栄養、保健、水と衛生など、さまざまな支援活動をしています。**手作りのサッカーボールを笑顔で追いかける子どもたち、その笑顔を守っていくために、どんなことが必要かな？**

ヨーロッパの国　オーストリア

家族でイラクの紛争から逃げて、ここまできました。小さな頃から足が不自由で、車いすを使っています。いろいろな国から逃げてきた人たちが、古い病院だったところで一緒に暮らしています。ぼくらはみんな、ここで難民として認められるのを待っています。友だちや弟とバスケットボールをするのが好きです。ぼくの一番の親友は、アフリカのソマリアから逃げてきました。（サジャド、15歳）



© UNICEF/UN021754/Gilbertson VII Photo

2019年1月～9月上旬の間に5万7,000人の移民・難民がヨーロッパに到着しました。その4人に1人が子どもでした。紛争や貧困から命から がら逃れてきた子どもたち。すべての子どもが、どこに生まれても、どこに住んでも、その権利が守られ、生まれもった能力を最大限発揮できるように、ユニセフは支援をしています。**自分がもし、故郷を離れないといけなくなり、言葉も通じない国に住むとしたら、そこがどんな環境であってほしいとあなたは願いますか。**

カリブ海の国　バハマ

大きなハリケーンがきて、家がとばされて、本当にこわかった。

ここは避難所。たくさんの人が一緒に暮らしているよ。ユニセフの人とみんなで輪になって遊んだの。大声で笑って、遊ぶのは久しぶり！



© UNICEF/UNI205398/Noorani

2019年9月、ハリケーン「ドリアン」が上陸し、甚大な被害をうけたバハマ。避難所で暮らす子どもたちを集めて、スポーツをしたり、絵を描いたりする心理ケアが行われました。緊急事態がおきたとき、ユニセフは「子どもにやさしい空間」や「学習センター」などを設置し、子どもたちが日常を取りもどし、安心して過ごせるように支援をしています。気候変動の影響、人口の増加などさまざまな要因が重なって、自然災害の被害にあう人はこれからも増えていくと予想されています。**緊急事態に直面した子どもたちを守り、復興していく中で、どんなことが必要かな？**

南アジアの国　バングラデシュ

わたしの小学校には、女の子たちのサッカー・クラブがあるの。男の子と同じようにスポーツができるのは、すごくうれしい。（モニ、8年生）



© UNICEF/UNI211976/Haque

バングラデシュでは、女の子が屋外でスポーツをする機会はほとんどありませんでした。特に農村部では、「女の子は家にいて、家事をするべき」という昔からの考えが強く残っていて、女の子がスポーツをすることに反対する人がたくさんいました。しかし、ユニセフの支援プログラムを通して、スポーツで結果を残す女の子の姿が、地域の人たちの意識を変え始めました。ユニセフは、基本的な人権を守る活動の一つとして、ジェンダーの平等を推進しています。**だれもが自分の好きなスポーツを楽しめる世界を創っていくためには、何が必要かな？**

あなたは、［　　］にどんな言葉を入れますか？
その言葉を考えた理由を、お友だちと話し合って、みんなの思いをユニセフに届けてください。

みんなで届けよう、世界の子どもに希望のパス！

unicef

ユニセフ活動の手引き

目 次

「ユニセフ活動の手引き」の活用法 …… 2
「ユニセフについて知りたい」 …… 3
「世界の子どもの現状が知りたい」 …… 5
「SDGsとユニセフ」 …… 7
「募金活動をしたい」
様々な方法で、ユニセフ募金に協力！ …… 9
文化祭ユニセフセット申込用紙 …… 10
街頭募金実施計画書・申請依頼書 …… 12
ユニセフ募金の種類 …… 13
ユニセフ支援ギフト申込用紙 …… 14
活動を終えてから（We Support UNICEF賞申込用紙） …… 15
「学校で使える資料や教材がほしい」
調べ学習に（ホームページ「子どもと先生の広場」） …… 17
貸出教材（水がめ・地雷レプリカなど） …… 18
ユニセフ資料の紹介 …… 19
ユニセフ資料申込用紙 …… 20
「修学旅行・社会科見学でユニセフハウスを訪問したい」 …… 21
ユニセフハウス訪問依頼書 …… 22
「講演会や授業に講師派遣を利用したい」 …… 23
講師派遣・オンライン授業依頼書 …… 24
「ユニセフ視聴覚ライブラリーを利用したい」 …… 25
全国の貸出機関と協定地域組織 …… 29
「募金を送金したい」 …… 31
振込用紙 …… 32
「最新の映像・DVDを活用したい」 …… 巻末

…各種申込用紙

いま、学校での「ユニセフ活動」が果たす役割

「持続可能な社会の創り手」を育てるために

小・中・高等学校の新学習指導要領の前文には、共通して以下の文言が示されています。

> 一人一人の児童／生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、**持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。**
>
> <新学習指導要領　前文より>

気候変動による自然災害の多発、格差や貧困、紛争やテロリズムなど、今の世界には、私たちの生活を「持続不可能」にしかねない様々な問題があります。技術革新が進み、人生100年時代とも言われる一方で、今の子どもたちが社会の主役となっているころに、世界がどのように変わっているのかを予測することは極めて困難です。持続可能な社会を創ることができなければ、私たち自身の暮らしも未来も危うくなる、そんな時代を生きていく子どもたちに、**学校での「ユニセフ活動」は、現在の世界の課題を学び、持続可能な社会を創るために必要な行動を起こす手がかり**を提供します。そしてそこには、かならず**"主体的で対話的な深い学び"**が生まれると確信しています。

学校で取り組む「ユニセフ活動」には次のような側面があります

- 同じ年頃の世界の子どもたちの状況を知り、そこから自分たちが暮らす世界のようすを知ることができます。
- 世界の厳しい状況下の子どもたちと比べて、よりチャンスの多い日本での自分たちの暮らしが、どのような人々の努力や仕組みに支えられているのか、気づくことができます。
- 世界の子どもたちを支援するためにユニセフがどのように活動しているか、また、子どもたちの未来を守る持続可能な世界を築くための取り組み（➡P.7）を知ることは、社会や世界の困難な課題に立ち向かう方法を知ることにつながります。
- 自分たちにできることを考え、具体的な行動を企画し、実践することで、実際に変化を起こすために自ら動くことの大切さを学ぶことができます。
- 子どもたちによる行動が、学校内だけでなく、家族、周辺のコミュニティ、大人たちに影響を与えられることを知ります。

「ユニセフ活動の手引き」の活用法

知る

世界の入り口はテレビや新聞、インターネットなど、身近なところにあります。そして、このユニセフ資料も世界の入り口のひとつです。

- ユニセフとは?➡P.3〜4
- 世界の子どもたちはどんな危機や困難に直面しているの?➡P.5〜8
- 世界の子どもの様子、ユニセフの取り組みを見てみよう➡巻末DVD
- 貸出教材を借りて「体験」してみよう➡P.18
- ユニセフ資料を取り寄せよう➡P.19
- 講師派遣「ユニセフ教室」を活用しよう➡P.23

考えたら、さらに知り、行動してまた考える…

3つの要素を行き来しながら学びが深まっていきます

考える

知ったことや考えたことをみんなで話し合ってみたり、書いてまとめてみたりして考えを深めよう。そして、自分たちは何ができるか考えてみよう。

- 疑問をさらに調べてみよう➡P.17
- ユニセフハウス（➡P.21）や地域にあるユニセフ協会（➡P.30）を訪問して分からなかったことを質問してみよう

行動する

どんなアクションをするか企画したり、計画を立てたりしよう。決まりごとを守り、人に迷惑をかけない方法を考えよう。

- 文化祭やバザー、リサイクル活動の機会を生かしてユニセフ募金に協力!➡P.9
- 街頭募金の計画・実施について➡P.11
- 活動を終えてから➡P.15

Voice ユニセフ活動を通して－子どもや先生からの声



児童より（沖縄県）

総合的な学習の時間に、ユニセフの資料を使って、世界の子どもたちの現状を勉強しました。自分たちの募金が世界の子どもたちのために使われると知って、少しでも多く募金が集まるようにがんばりました。**SDGsの目標1「貧困をなくそう」、目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標4「質の高い教育をみんなに」などの達成のために、私たちの募金と気持ちを役立ててください。**



先生より（大阪府）

ユニセフDVD教材を児童と共に見て、ユニセフ募金について学習しました。世界には、自分たちよりも幼い子どもが病気に苦しんでいること、教育を受けることのできない子どもがいることに驚き、心で様々な想いを抱きました。「ユニセフの活動について知ってほしい!!」という想いから、児童朝礼や校内放送で呼びかけ、一週間毎日募金活動を行いました。**主体的に活動している姿は、教員も感心するほどでした。**「来年度も活動していきたい」「DVDを全校児童にも見てほしい」と、**児童たちはニコニコで、達成感に満ちていました。**

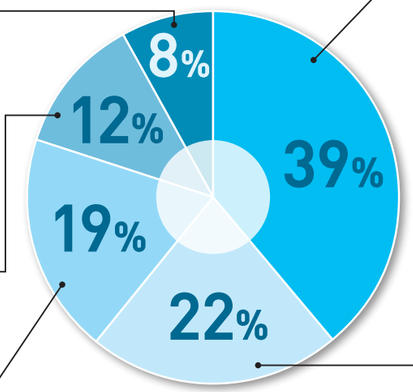
ユニセフ早分かり

ユニセフとは…

ユニセフ（UNICEF:国際連合児童基金）は、世界の子どもたちの命と健やかな成長を守るために活動する国連機関です。第二次世界大戦で被災した子どもたちへの緊急支援を目的に、1946年の第1回国連総会で創設されました。現在、ユニセフは、「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」で定められている、子どもの「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」を実現するために、その国の政府やコミュニティ、NGOや住民などと協力してさまざまな支援活動を実施しています。

ユニセフの主な活動

ユニセフ活動分野別の支出割合（2018年）



公平な機会（社会へのインクルージョン）

～すべての子どもが、人生において公平な機会を得る～

紛争、危機、気候関連の災害、障がいの有無やジェンダーによる差別により、子どもたちの可能性が奪われることがないよう、誰もが受け入れられる社会をめざした政策提言や子どもたちへの支援など。

子どもの保護

～すべての子どもが、暴力や搾取から守られる～

暴力の被害にあった子どもの保護、子ども兵士の解放や社会復帰、人身売買や児童労働を防ぐ取り組みなど。

環境（水と衛生）

～すべての子どもが、安全で清潔な環境で暮らす～

子どもの生活環境を守るための、安全な水の確保、トイレ、手洗いなどの衛生習慣を広めること、災害リスクの軽減、平和構築、都市化や汚染、気候変動への対応など。

子どもの生存と成長（栄養・保健・HIV/エイズ）

～すべての子どもが、命を守られ健やかに成長できる～

予防接種、保健センターの整備、保健員の養成や、発育観察、経口補水療法などの保健の知識を広めること、母乳育児、ビタミンAや微量栄養素の補給、栄養の知識を広めること、すべての子どもたちをHIV/エイズの脅威から守るための母子感染の予防、子ども・若者に対するエイズ予防・治療の普及など。

教育

～すべての子どもが、教育を受けられる～

すべての子どもが学校に通えるように、教室や男女別のトイレなどの設備を整える、教科書や学用品の提供、先生の研修、学校運営への地域の参加、就学前教育など。

～上記の分野に横断的にかかわる活動～

緊急支援・人道支援

自然災害や紛争といった緊急事態や人道危機が発生したとき、いち早く子どもたちを守るために、テントや毛布、医薬品など、必要な支援物資を迅速に届けられる体制を整えています。また「子どもにやさしい空間」や「学習センター」などを設置し、子どもたちが日常を取りもどし、安全に過ごせるように支援しています。

ジェンダーの平等

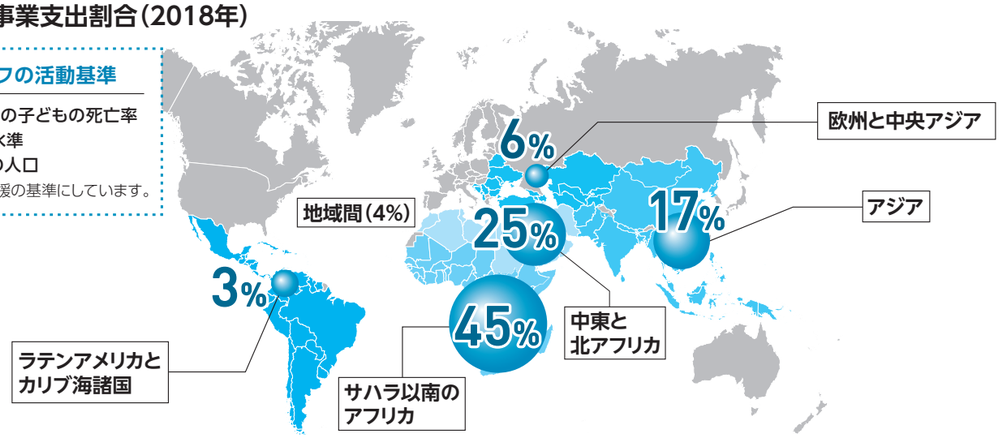
ユニセフは、平等と無差別という基本的人権の原則に基づいて、ジェンダーの平等を推進しています。各国における支援プログラムを通して、女性と女の子が、コミュニティの政治的、社会的、経済的な発展に参加できるよう支援しています。特に教育分野においては、男女に関わらず、すべての子どもが教育の機会を得られるように取り組んでいます。

地域別の事業支出割合（2018年）

ユニセフの活動基準

1. 5歳未満の子どもの死亡率
2. 所得の水準
3. 子どもの人口

この3つを支援の基準にしています。



ユニセフの歴史

1945年	第二次世界大戦が終わり、国際連合（国連）が設立される（写真①）
1946年	第1回国連総会でUNICEF（国際連合国際児童緊急基金）を創設 戦争で被害を受けた子どもへの緊急支援をはじめる
1949年	日本の子どもへのユニセフの緊急支援がはじまる―学校給食での粉ミルクなど―
1953年	名称を「国際連合児童基金」と改め、活動を開発途上国の子どもへの長期的な支援へ広げる
1955年	財団法人日本ユニセフ協会設立
1959年	国連総会で「児童の権利宣言」採択
1964年	日本へのユニセフの支援が終わる（15年間の援助総額 当時の金額で約65億円）
1965年	ユニセフ、ノーベル平和賞を受賞（写真②）
1979年	国連総会が国際児童年と定め、ユニセフが中心となってキャンペーンを展開
1983年	ユニセフ「子ども健康革命」提唱　子どもの生存と健康のための支援事業に重点をおく
1989年	国連総会で「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」を採択（写真③）
1990年	「子どものための世界サミット」開催　世界159カ国から代表が参加 子どもへの予防接種の普及率が80%に到達
1996年	ユニセフ創設50周年「ユニセフの使命」を発表する
1999年	ユニセフ、子どものライフサイクル―乳幼児期・学齢期・青年期―に合わせた総合的支援活動をはじめる
2000年	国連ミレニアム・サミットにおいて、MDGsの基となる「国連ミレニアム宣言」が出される
2002年	「国連子ども特別総会」開催。21世紀の新たな子どものための目標を採択
2011年	内閣府の認定を受け、日本ユニセフ協会は財団法人から公益財団法人になる
2015年	国連持続可能な開発サミットにおいて、SDGsを含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択される（写真④）
2016年	ユニセフ創設70周年
2019年	「子どもの権利条約」採択30周年


①
©UNICEF


②
©UNICEF


③
©UNICEF


④
©UNICEF/UNI197042/Garten

コラム

日本の子どもたちもユニセフの支援で元気になりました。

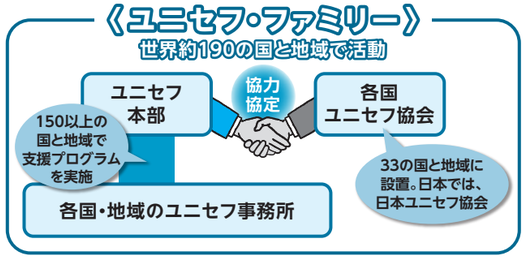
今は豊かになった日本ですが、第二次世界大戦後、人々は家を焼かれ、着る物も食べ物もなく、不衛生な環境の中での生活を強いられていました。そのような厳しい状況におかれた日本の子どもたちをユニセフは支援をしました。1949年（昭和24年）から15年間にわたって、当時の金額で約65億円相当の大きな支援で、学校給食用の粉ミルク、毛布、衣類の材料となる原綿、医薬品などが提供されました。

2011年の東日本大震災発生時には、ユニセフの協力のもと、日本ユニセフ協会が被災地で支援活動を行いました。


©日本ユニセフ協会

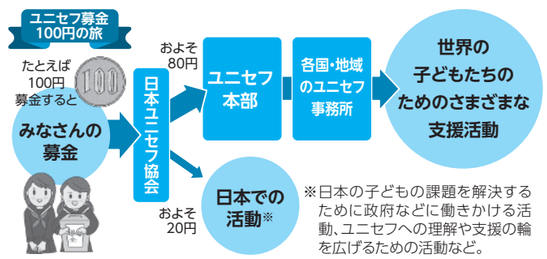
大きなユニセフ・ファミリー

ユニセフが支援活動をしている国や地域には、現地事務所や地域事務所があり、その国の政府と一緒に活動しています。一方、ユニセフの支援を卒業した日本などの先進工業国には、民間でユニセフを代表するユニセフ協会があり、ユニセフの活動を支える募金活動や広報活動などを担っています。こうして、現在、ユニセフは約190の国と地域において活動をしているのです。



日本ユニセフ協会の活動

日本ユニセフ協会は、個人のみなさん、団体や企業、自治体、報道機関や学校のみなさんからから、ユニセフへの募金をおあずかりしてユニセフ本部へ届けています。また、ユニセフの活動や、世界の子どもたちの状況などについて日本国内でお伝えしたり、子どもの課題を解決するために政府などに働きかけたりしています。



※日本の子どもの課題を解決するために政府などに働きかける活動、ユニセフへの理解や支援の輪を広げるための活動など。

世界の子どもの現状が知りたい

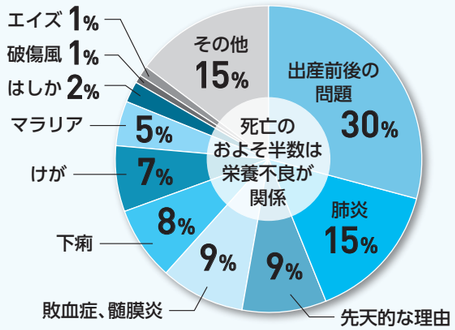
世界の子どもたちは、いま

生まれた国や地域によって、さまざまな危機や困難に直面している子どもたちがいます。

数字で見る世界の子どもたち

5歳をむかえる前に命を失う子どもは年間 530万人*1

子どもたちが命を失う原因*1



予防や治療ができる原因で多くの子どもたちが命をうしなっていることがわかります。

世界の5歳未満児の21.9%

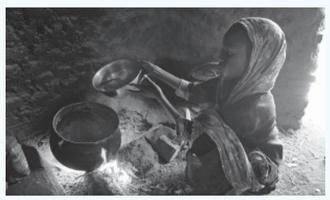
1億4,900万人の5歳未満の子どもが、栄養が足りず発育が阻害されている*2

児童労働を強いられている5～17歳の子どもは、世界で 1億5,200万人*3



バングラデシュ。14歳のナシルくんは人力車の運転手。「ぼくの家族はとても貧しいので、家族を養うために働かないといけない」（2019年12月撮影）
© UNICEF/UNI252566/Modola

小学校就学年齢にもかかわらず小学校に通っていない子どもの数は、世界で 5,900万人*4



スーダン。7歳のイスラちゃん。「制服も買えないし、学費も払えないから、学校へは行かないの。弟たちとおじいさんのお世話もしないといけないから」（2019年11月撮影）
© UNICEF/UNI236007/Noorani

ヨーロッパにおける難民・移民危機

2019年1月～9月上旬の間で、5万7,000人の難民・移民がヨーロッパに到着し、その4人にひとりが子ども。難民・移民の子どもたち、特に単独で移動をしている女の子・男の子は、性的暴力を含む虐待や搾取にあうリスクが高い。

ベネズエラ危機

ベネズエラでは、前例のないほどの社会経済・政治危機により、国内では約700万人が人道支援を必要としている。2020年には、ベネズエラをはじめラテンアメリカ・カリブ海地域において、子ども190万人を含む650万人が支援を必要とすると見込まれている。



コロンビア。ベネズエラとの国境近くの町のサッカー場。無償で提供される昼食に並ぶベネズエラの移民たち。（2019年4月撮影）
© UNICEF/UN0310030/Arcos

池や川の水（地表水）を未処理のまま使わざるを得ない人は世界で 1億4,400万人*5



ソマリア。生活用水として川の水をくむ人々。汚れた水が原因で起こる腸チフス、コレラなどの病気によって栄養不良になると、命を落とす危険性も高まります。（2019年4月撮影）
© UNICEF/UN0307520/Knowles-Coursin

危機下の子どもたち

ウクライナ

ウクライナ東部では、子ども43万人を含む340万人の人々が、5年続く紛争の矢面に立たされ、心と身体の健康を蝕む直接的な脅威と、基本的なサービスへのアクセスの制限に苦しんでいる。



武力紛争が始まり、多くの人が町を去りました。オレクシィさんの学校は再開しましたが、生徒は4人しかいません。砲撃が始まると、学校は避難所にもなります。（2019年5月撮影）
© UNICEF/UN0312572/Filippov

シリアと周辺国

紛争が8年続く中、事態の深刻さ、複雑さは増し、支援の規模は依然として広範囲に及んでいる。シリアの人口の半数以上にあたる約1,100万人が人道支援を必要としている。トルコやレバノン、ヨルダン、イラク、エジプトなどの周辺国では、子ども250万人以上を含む560万人が難民として登録されている。



トラックの荷台に乗る子どもたち。シリア南部で激化した紛争から逃れるために多くの家族が移動しています。（2020年1月撮影）© UNICEF/UNI286348/Abdoull

アフガニスタン

アフガニスタンでは、紛争、自然災害、貧困により、支援の必要性が高まっている。2020年、940万人（そのうち54%が子ども）が人道支援と保護を必要とするとみられている。

朝鮮民主主義人民共和国

北朝鮮の人道状況は、慢性的な食料不足、命を守る基本的なサービスへのアクセスの欠如、もっとも弱い立場に置かれた人々への深刻な影響が特徴としてみられる。人口の3分の1以上が、安全な飲み水を利用できない。

ロヒンギャ難民危機（バングラデシュ、ミャンマー）

ミャンマーから逃れ、バングラデシュのコックスバザールで受け入れられたロヒンギャ難民の数は、2019年9月までに91万人以上にのぼり、そのうち73万人は2年以上この地での生活を余儀なくされている。ミャンマーでは、ロヒンギャの子どもや家族は非常に弱い立場に置かれ、約90万5,000人が保護を必要としている。



プロサッカー選手で日本ユニセフ協会大使の長谷部誠さん。60万人ものロヒンギャの人々が暮らす世界最大の難民キャンプを訪問しました。（2019年6月撮影）
© UNICEF/UN0319108/Chakma
DVD 巻末DVD「長谷部誠大使　ロヒンギャ難民キャンプ訪問」

エボラ対応（コンゴ民主共和国、ブルンジ、ルワンダ、南スーダン、ウガンダ）

コンゴ民主共和国でのエボラ出血熱の発生は、900人以上の子どもを含む3,000人の症例が確認されており、その規模はこれまでで2番目に大きく、紛争地帯におけるものではもっとも大きい。この大流行が、ブルンジ、ルワンダ、南スーダン、ウガンダを含む近隣諸国に波及するリスクが極めて高まっている。

中央サヘル地域（ブルキナファソ、マリ、ニジェール）

中央サヘル地域における不安定な状況と暴力の蔓延によって、人々が自宅を追われる強制移住と人道危機が前例のないほど深刻になっている。5歳未満の子どもたち72万1,000人が重度の急性栄養不良のリスクにさらされている。
暴力によって閉校となった学校はこの3年間で6倍に増加。3,000校以上が閉校し、子ども61万人と教師1万5,000人が影響を受けている。



ニジェールの保健センターで診察を受ける女の子。上腕の周囲は10cmしかなく、重度の急性栄養不良と診断されました。
© UNICEF/UN0317914/Frank Dejongh

イエメン

紛争勃発から5年が経過する中、イエメンにおける人道危機は世界最大の緊急事態であり、2,400万人以上が人道支援を必要としている。約360万人が国内避難を余儀なくされ、5歳未満の子ども36万8,000人以上が重度の急性栄養不良に苦しんでいる。



空爆によって破壊された家の前に座るイエメンの子どもたち。（2019年7月撮影）© UNICEF/UNI220712/Romenzi

注：この地図は国境を正確にあらわしたものではありません。また、国や領土・国境の法的地位についてのユニセフの立場を示すものではありません。

出典：Humanitarian Action for Children 2020(Overview), UNICEF

*1 Levels and Trands in Child Mortality 2019
*2 UNICEF-WHO-The World Bank Joint Child Malnutrition Estimates-2019 edition　*3 ILO, Global Estimates of Child Labour - RESULTS AND TRENDS, 2012-2016
*4 UNESCO, New Methodology Shows 258 Million Children, Adolescents and Youth Are Out of School (2019)
*5 WHO/UNICEF JMP (2019), Progress on household drinking water, sanitation and hygiene 2000-2017. Special focus on inequalities

SDGs（持続可能な開発目標）とユニセフ

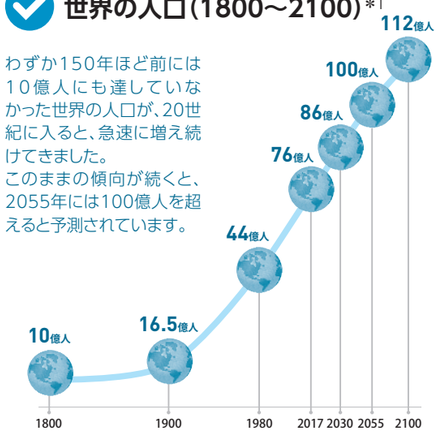
持続可能な世界を築くために

世界はよりよい場所になっている！？

この30年で、子どもたちを取り巻く環境には大きな前進がありました。たとえば、5歳を迎える前に亡くなる子どもの数は1990年の1,270万人から、2018年には530万人にまで減少しています。しかし、子どもたちが生きる現在の世界は、紛争、格差、気候変動など、未来を大きく左右する多くの難しい問題に直面しているのもまた事実です。

今の世界にはどんな問題があるのだろう?

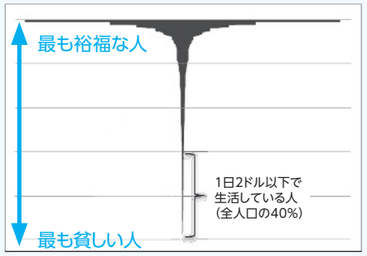
世界の人口（1800～2100）*1



わずか150年ほど前には10億人にも達していなかった世界の人口が、20世紀に入ると、急速に増え続けてきました。
このままの傾向が続くと、2055年には100億人を超えると予測されています。

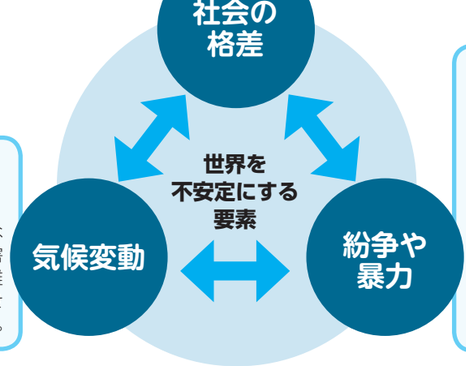
格差 *2

右の図は、世界（141カ国）の最も裕福な人から貧しい人を上から順に並べ、どのくらいの富（黒い部分）をもっているのかを示した図です。最も裕福な6,100万人（全人口の1%）がもっている富は、最も貧しい35億人（全人口の56%）と同じです。富が裕福な人に集中していることが分かります。



気候変動は世界全体の問題。でも真っ先に影響を受けるのは…？*3

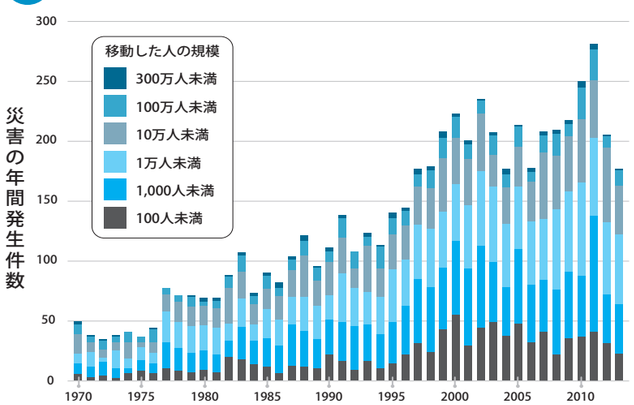
沿岸の低地に住む人々だけでなく、貧困など社会的に脆弱な立場にある人々も真っ先に悪影響を受けます。異常気象や災害（洪水、干ばつ、熱波等）に備えたり、対応したりすることが難しく、復興までの時間もかかるため、すでにある貧困を長引かせたり、新たな貧困を生み出したりしてしまうことにもつながります。



移民・難民 *4

紛争や暴力、気候変動、貧困の影響で、平和で安全な場所や、生き延びられる環境を求めて移動する人々がたくさんいます。2015年には約5,000万人の子どもが故郷を奪われ、うち約2,800万人は紛争が原因でした。

住民の移動を余儀なくさせる災害の年間発生件数（1970～2013）*3



コラム　シリア紛争。その背景には干ばつの影響も。

2020年で9年目を迎えるシリア紛争。この紛争が起きる前の2006～2010年、シリアでは史上最悪と言われる干ばつが起こり、社会が大きく変化していました★。様々な問題や変化が影響し合って、紛争などの大きな問題を引き起こすことがあるのです。

★当時シリアでは、水を大量に必要とする綿花栽培が推奨されていたこともあり、干ばつの影響はより深刻なものとなりました。農地を手放し、職を求めて都市部に多くの人が流入。失業率が上がり、社会不安が広がる中で、「アラブの春（中東各地で起きた大規模な民主化運動）」につながる反政府暴動が起きていました。

*1 UN Population Division(2015)　*2 "GLOBAL INEQUALITY: BEYOND THE BOTTOM BILLIONA - Rapid Review of Income Distribution in 141 Countries", UNICEF (2011)
*3 "Unless we act now: The impact od climate change on children", UNICEF (2015)　*4 "Uprooted: The growing crisis for refugee and migrant children", UNICEF (2016)

目指す未来について話し合って生まれた「SDGs（持続可能な開発目標）」

地球と人類の存亡にもかかわるような問題への危機感から、世界中の様々な立場の人が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標をたてました。それが2015年に国連で採択されたSDGs（エスディージーズ）（持続可能な開発目標／Sustainable Development Goals（サステイナブル ディベロップメント ゴールズ））です。



子どもの「今」とその「権利」を守ることが持続可能な世界の礎になる

これからの世界を担う子どもたち一人ひとりが、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できることこそが、平和で持続可能な社会を築くための礎となります。しかし、2020年現在、ユニセフが発表した、緊急的な人道支援が必要とされる子どもの数は5,900万人にのぼり、そのほかにも、健やかな成長や教育の機会を奪われ、取り残されている子どもたちが数多くいます。
誰ひとり取り残さない社会の実現のために何が必要でしょう?
ユニセフ活動を通じてともに考え、できることを行動にうつしてください。

資料のお申し込みは ➡P.20

これは使える！　ユニセフ資料の紹介

子ども向け SDGs ウェブサイト

SDGs CLUB（エス・ディー・ジーズ クラブ）　誕生!!（5月頃オープン予定）

17の目標それぞれに設定されているターゲット（169の具体的な達成目標）を子ども向けに翻訳。それぞれの目標に関わって、どのような課題があるのか、データや映像から学ぶことができます。

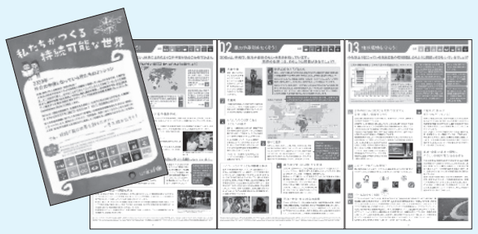


www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs

SDGs 副教材あります!

私たちがつくる持続可能な世界
～SDGsをナビにして～

今の世界の課題とSDGsを学ぶとともに、自分は何をするのか「行動宣言」を考えてみよう！



募金活動をしたい

様々な方法で、ユニセフ募金に協力！

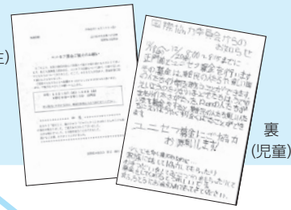
ユニセフ募金は、世界の同じ世代の仲間たちのために、みなさんができる大切な活動のひとつです。募金活動を通じて、世界の子どもたちが直面する課題を知ってもらったり、活動に共感をもってもらったりできれば、さらに協力の輪が広がります。みなさんの取り組みは、世界を変える一歩になります！

校内・校外での募金活動

- 校内で活動する場合にも、**保護者や地域のみなさんにもご理解いただき、協力してもらえるような働きかけ**を考えてみましょう。
- 校外に出て一般の皆さんに協力を呼びかける**街頭募金活動**は、大きな協力を集められるだけでなく、多くの学びにつながる方法です。（➡**P.11**「街頭募金活動のすすめ」）
- **募金箱や呼びかけポスター、ありがとうチラシなどの活動ツール**を工夫して作るとモチベーションが高まります。
- 『○○（支援物資）が△個は買えるよう、□□円を目標に呼びかけよう』など、**目標を決めて取り組む**と、成果がわかりやすくなり、活動の振り返りや報告にも役立ちます。
- 運動会、学習発表会などの催事の際に活動することも効果的です。

Tip! 先生・児童で協力して作ったお便り「ユニセフ募金ご協力のお願い」を配布

大井第一小学校では、ユニセフ募金を始める前に、保護者にお便りを配ります。国際協力委員会が、そのお便りの裏に、世界にはどんなことに困っている子どもがいるのか、ユニセフ募金がどのように役立てられているのか調べたことを書いて、募金のお願いをしています。
（品川区立大井第一小学校　国際協力委員児童）



バザー、フリーマーケットなど物販を通じて

中古品や未使用品、地域の特産品、自分たちで育てた農産物や工夫して作ったものなどを売るバザーやフリーマーケットを開いてみましょう。売り上げをユニセフに寄付することを伝えながら活動します。募金箱を置いてみたり、学習の成果を展示したりしながら実施することも効果的です。外部からの訪問者が多い**文化祭・学園祭**は、こうした活動の絶好の機会になります。
（右ページの「文化祭ユニセフセット」をご活用ください!）

リサイクル活動と連携して

缶やびん、ペットボトル、古新聞、ダンボール、牛乳パック、インクカートリッジなど、リサイクル事業者が対価を払って引き取ってくれる場合がありますので、売り上げを募金にすることができます。**書き損じはがきや未使用の切手**は郵便局で1枚5円の手数料で新しいはがきや切手に交換することができます。新しいはがきや切手を周囲の方や取扱店で買い取ってもらえれば、その代金を募金にすることができます。

PTA活動と連携して

PTAで行われているバザーやお楽しみ会等、様々な活動をユニセフ支援につなげてみませんか。募金活動の前に、家庭教育学級や親子教室、講演会でユニセフ教室（➡**P.23**「講師派遣・オンライン授業」）を開催するなど、児童・生徒、地域が一緒になって、世界の子どもたちの幸せや世界の課題に目を向けるきっかけにもなります。

Tip! ユニセフ学校募金の始まりは、日本の子どもたちから

世界の子どもたちを支えるユニセフ募金。1949年から1964年（1回目の東京オリンピックが開かれた年）まで、日本の子どもたちもユニセフからの支援を受けていました。
日本におけるユニセフ募金は、そんな子どもたちが「今度は自分たちができることをしよう」と呼びかけたところから始まりました。日本でのユニセフ学校募金は、2020年度で65周年。今も、日本の子どもたちと世界の子どもたちをつなぎ続けています。



送信先：（公財）日本ユニセフ協会　行
FAX：03-5789-2034　TEL：03-5789-2014　Email：se-jcu@unicef.or.jp
＜申込日　　年　　月　　日＞

文化祭ユニセフセット 申込用紙

文化祭・学園祭をユニセフ協力の機会に！

思いを伝え、協力を広げる絶好のチャンス！

文化祭・学園祭では、みなさんが学習したり、考えたりしてきたことを多くの人に伝えられる良い機会です。
楽しい模擬店の活動も、売り上げが寄付となり世界の子どもたちの笑顔につながるとしたら、もっと多くの方と幅広い交流が生まれそうです。チャリティコンサートを開いたり、お芝居を披露したり、みなさんの様々な才能を生かして支援につなげることもできます。
今年の文化祭・学園祭をユニセフ色に彩って、世界の子どもたちとつながる機会にしてみませんか?

活動に取り組むみなさんを応援 !!

文化祭ユニセフセットをご活用ください

文化祭・学園祭の機会にユニセフ募金活動をしてくださる皆さまに、使いやすいポスターや募金箱をセットにして、無料（資料実費・送料ともに）でご提供いたします。

文化祭ユニセフセット基本内容

- 募金呼びかけポスター　3種類　各1枚
- 厚紙製組み立て式募金箱　2箱
- ポスターセット「ユニセフってなぁに?」1セット
- 配布チラシ　100枚

ユニセフの活動や世界の子どもたちが直面する課題が10枚のポスターで描かれています。（詳しくは➡**P.28**）



学校 / 園名			
ご担当者名（職）			
ご住所	〒　　－ 都・道 府・県		
電　話	（　　）	FAX	（　　）
Email			
活動日			
活動される方 主な活動予定内容			
ご要望等	※上記セット内容の資料の部数や、追加の資料をご希望の場合は、こちらに資料名と希望数量をお書きください。 （ポスターセット「ユニセフってなぁに？」の追加分については、資料代400円／部をいただきます。2008年版の旧「ユニセフってなぁに？」であれば、追加分も無料でお送りいたしますので、その旨ご記載下さい。）		

募金活動をしたい

街頭募金活動のすすめ



校外に出て一般の方に募金の協力を呼びかける街頭募金活動には、多くの学びがあります。必要な手続きを取り、安全に配慮すれば、それほど難しい活動ではありません。ぜひ、ご検討ください。

自分たちは良いことをやっていると思って募金を呼びかけるのに、思ったように募金を入れてもらえなかったり、逆に地域の方があたたかい言葉をかけてくださったり。募金活動の主体となることで、活動を自分ごととしてとらえられる、自分の殻をやぶって人と関わることができる、社会のさまざまな人の考えを知る、といったさまざまな発見・経験がありました。
（街頭募金を経験された先生談）

街頭募金の進め方

1 「街頭募金実施計画書・申請依頼書」（右ページ）に記入し、FAXまたはメールでお送りください。

2 敷地利用申請など、活動の場所に応じて、必要な申請を行います。

・駅で実施する場合

鉄道（駅）の敷地を使用する場合には、駅に「駅敷地使用許可申請」が必要です。
東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県の鉄道においては、日本ユニセフ協会が書類のとりまとめ窓口となり、各鉄道会社に手続きをしています。手続きに時間がかかるため、表のとおり、**実施日の2カ月前まで**に1の依頼書をお送りください。上記の都県以外の鉄道駅については、各学校から直接、駅にお問い合わせのうえ、ご申請をお願いいたします。

・公道の場合

駅前ロータリーなど公道を利用する場合には、警察に「道路使用許可申請」を行ってください。

・店舗の場合

店舗内あるいは店舗の敷地内を利用したい場合には、各店舗の許可を得てください。

募金活動月	
1月	前年の11月15日必着
2月	前年の12月15日必着
3月	1月15日必着
4月	2月15日必着
5月	3月15日必着
6月	4月15日必着
7月	5月15日必着
8月	6月15日必着
9月	7月15日必着
10月	8月15日必着
11月	9月15日必着
12月	10月15日必着

3 当協会から募金活動用のツールが届きます。

工夫して手作りした募金箱やポスターを加えると、みなさんのメッセージが伝わりやすくなります。



4 街頭募金活動当日

活動は、校長先生の許可のもと、各校の責任において実施してください。街頭募金活動は、児童・生徒のみなさんだけでは行わず、必ず先生または保護者の方と一緒に行ってください。通行を妨げない、点字ブロックの上で行わない、などにも注意してください。また学校名を名乗るなど、学校の活動として実施していることを伝えましょう。
実りある活動が安全に実施できるよう、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

5 送金と報告

集まった募金は、巻末の振込用紙を使用し、郵便局からご送金ください。
後日、掲示板や学校新聞、ホームページなどを通じて、ご協力くださったみなさまへ募金額の報告やお礼を伝えてみましょう。
また、We Support UNICEF賞（➡P.16「活動を終えてから」）の申し込みなどを通じて、募金活動のようすや活動を通じて感じたことなどを日本ユニセフ協会にもお知らせくださいますと幸いです。

募金活動のヒント

いくらでどんなことができるかを具体的に伝えてみましょう。また、活動でどれくらいの支援を目標にするか決めて、みんなでその目標に向かって呼びかけてみましょう。

例
- 「あなたの100円が子どもたちをポリオから守るワクチンを〇回分になります!」
- 「〇〇〇円の募金を集めて、世界の子どもたちに栄養治療食〇〇包を届けたいと思います!」

※支援物資を選んで募金ができる**「ユニセフ支援ギフト」**（➡P.14「ユニセフ支援ギフト申込用紙」）もチェック！

送信先：日本ユニセフ協会　学校事業部　行
FAX：03-5789-2034　TEL：03-5789-2014　Email：se-jcu@unicef.or.jp

＜申請日　　年　　月　　日＞

街頭募金実施計画書・申請依頼書

街頭募金実施場所

□ 駅敷地
※東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県内の駅については日本ユニセフ協会でまとめて申請します。

実施駅	実施日時	参加人数
線　駅　□	年　月　日　曜日 時　分 ～　時　分	生徒：　名 同伴：　名
線　駅　□	年　月　日　曜日 時　分 ～　時　分	生徒：　名 同伴：　名
線　駅　□	年　月　日　曜日 時　分 ～　時　分	生徒：　名 同伴：　名

□その他の公道（駅周辺）・店舗（店舗名・所在地）・その他（公園等）実施予定地

実施場所	実施日時	参加人数
	年　月　日　曜日 時　分 ～　時　分	生徒：　名 同伴：　名
	年　月　日　曜日 時　分 ～　時　分	生徒：　名 同伴：　名
	年　月　日　曜日 時　分 ～　時　分	生徒：　名 同伴：　名

□公道で実施される予定で、警察署への「道路使用許可申請に伴う手数料の減免のお願い」が必要な場合はチェックを入れてください。

学校情報

学校 / 園名			
学校長 / 園長名			印
ご担当者名（職）	（　　）		印
ご住所	〒　　ー 都・道 府・県		
電　話	（　　）	FAX	（　　）

資料請求

□厚紙製募金箱　＿＿＿＿個　※原則、一団体につき最大４箱まで。募金箱は手作りしていただいても構いません。
□振込用紙　＿＿＿＿枚
□ポスター　＿＿＿＿枚
□配布用チラシ　＿＿＿＿枚
□その他（　　）



※この用紙は日本ユニセフ協会が使用するものであり、駅等に直接申請をされる場合にはご利用になれません。

募金活動をしたい

ユニセフ募金の種類

「通常募金（ユニセフ募金）」のほか、「緊急・復興募金」「支援ギフト」など、支援先を選べる募金も受け付けています。ユニセフ募金活動を計画する際には、どんな目的のために実施するかを考え、「世界の子どものために」「シリア紛争の影響を受けている子どもたちのために」など呼びかけの文言も合わせて考えてみましょう。

通常募金（ユニセフ募金）

<呼びかけの文言例>
世界の子どもたちのために！
ご協力をお願いします！



ユニセフに使途をお任せいただく募金です。150以上の国と地域の子どもたちのためにユニセフが行っている支援活動全般に大切に活用されます。



© UNICEF/UNI78184/Siddique

緊急・復興募金

シリア紛争の影響を受けている子どもたちのために！



災害や紛争などの非常事態下の子どもたちへの緊急・復興支援のための募金です。2020年3月現在、受け付けている緊急募金は**「ロヒンギャ難民緊急募金」、「シリア緊急募金」「自然災害緊急募金」「アフリカ栄養危機緊急募金」「人道危機緊急募金」**の5つですが、募金の性質上、終了することがございますので、活動前に、必ず最新の情報をホームページでご確認ください。

ユニセフ緊急募金

「緊急支援情報」www.unicef.or.jp/kinkyu/

※ご送金の際、振込用紙の通信欄に緊急募金名（**「ロヒンギャ」「シリア」**など）をご記入ください。



© UNICEF/UN0264879/al Mussawir - Ramzi Haidar

分野・地域指定募金

世界の子どもが安全な水を使えるように!



特定の活動分野や地域を指定して支援する募金です。2020年3月現在、「水と衛生募金」を受け付けています。終了することがございますので、活動前に必ず最新の情報をホームページでご確認ください。

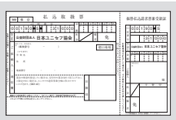
水と衛生募金

「水と衛生募金」www.unicef.or.jp/about_unicef/water/

※ご送金の際、振込用紙の通信欄に指定募金名（**「水と衛生」**）をご記入ください。



© UNICEF/UN0263246/Ramasomanana



集まりました募金は本冊子に綴じ込みの振込用紙をご利用のうえ、郵便局からご送金ください。ゆうちょ銀行・郵便局に備え付けの振込用紙でもご送金いただけます。窓口扱いの場合のみ、手数料免除となります。記入方法については、P.31をご参照ください。（➡**P.31**「募金の送金方法」）

支援ギフト

緊急事態下でも使える生徒40人分の学用品が入った「箱の中の学校」を届けるために!



カタログの中から、ワクチンや教育セット、栄養治療食などの支援物資を指定して募金をお寄せいただく方法です。（※国は指定できません）「ポリオワクチン○○人分の募金を集めよう!」など、より明確な目標を立てて募金活動を企画することができます。（※詳しくは右ページ参照）



© 日本ユニセフ協会

送信先：（公財）日本ユニセフ協会　行

FAX：03-5789-2034　TEL：03-5789-2014　Email：se-jcu@unicef.or.jp

＜申込日　　年　　月　　日＞

ユニセフ支援ギフト 申込用紙

世界の子どもたちに支援物資をプレゼント!

保健・栄養・水・教育・緊急など、さまざまな分野の支援物資をカタログ（右のQRコード、URL参照）から選んで支援することができます。募金活動を始める前に児童・生徒のみなさんとギフトを選んで、目標額を決めてから募金活動に取り組んでみませんか。

支援ギフトのカタログを見てみよう！

www.unicef.or.jp/kodomo/kyoroku/ky_bod5.html

ユニセフ支援ギフト

選ぶことのできる支援物資例

- はしかワクチン …… 80回分　**3,700円**
- 抗マラリア薬……720錠　**5,000円**
- 栄養治療食 ……150包　**6,000円**
- 箱の中の学校 …1セット40人分　**21,000円**



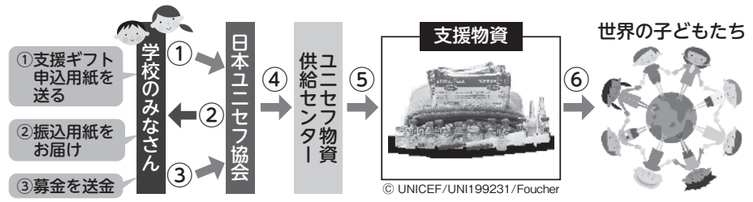
©UNICEF/UNI106773/Asselin



©UNICEF/UNI146341/Ose

※国・地域は指定できません。
※左に示した例の価格は2020年4月現在のもの。物資・価格は変わることがあります。
※支援ギフトは輸送費用も価格に含まれているため、同じ支援物資でも、その他の資料に掲載されているものと価格が異なります。

募金活動終了後、この「ユニセフ支援ギフト申込用紙」を記入し、当協会にお送りください（右図①）。金額が印字されたゆうちょ銀行の振込用紙をお届けします（右図②）。届いた専用振込用紙を使って募金をご送金ください（右図③）。



© UNICEF/UNI199231/Foucher

フリガナ			
学校名			
ご住所	〒　　ー 都　道 府　県		
電　話	（　　）	FAX	（　　）
Email	※「支援ギフト事業」の年次報告は Email でお届けします。		
ご担当者名			

申し込む支援ギフト

ギフト名	セット数	合計金額
	セット	円
	セット	円
	セット	円

ギフト名	セット数	合計金額
	セット	円
	セット	円
	セット	円

★上記支援ギフトと合わせて、通常のユニセフ募金にご協力いただける場合は、その金額をお書きください。
集まった募金から支援ギフトの価格を引いた端数をユニセフ募金としていただくことも可能です。

ユニセフ募金　＿＿＿＿＿＿＿＿円

募金活動をしたい

活動を終えてから

活動終了後には、ぜひ活動を振り返る機会をつくりましょう。
また、お世話になった方、募金にご協力くださった方に対して、報告とお礼をしましょう。
募金の送金方法はP.31をご参照ください。

- 活動して良かったこと、反省点、また、感じたこと、考えたことなどを、みんなで話し合いましょう。



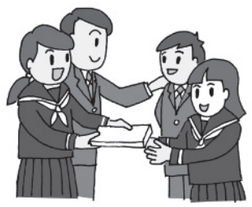
- 学校新聞など広報誌や学校のホームページに、集まった募金額の報告や募金活動を実施しての 感想などを掲載しましょう。



- お世話になった方にお手紙を書きましょう。



- 活動の反省や教訓などをまとめて、後輩に引き継げるようにしましょう。



We Support UNICEF賞をご活用ください

学校でユニセフ募金活動を実施したうえでお申し込みをいただいた学校にWe Support UNICEF賞をお贈りしています。お申し込みいただくと、賞状と記念のステッカー、ホームページ用のWe Support UNICEFバナーをお贈りいたします。一生懸命活動された児童や生徒のみなさんへのフィードバックにお役立ていただけましたら幸いです。



ステッカー



賞状

2020年度「We Support UNICEF賞」の贈呈について

- **募集期間：** **2020年4月1日～2021年3月31日**（申込用紙記載日）
- **賞の対象：** 以下の条件に該当し、お申し込みをいただいた学校・園すべてにお贈りします。
  - ・児童や生徒が参加する形でユニセフ学校募金活動に取り組まれた学校。
  - ・すべての校種（幼稚園・保育園を含む）が対象となります。
  - ・PTAなど学校以外が活動主体となる形も可です。
  - ・学校全体、クラス、委員会、クラブなど、活動単位も問いません。
- **お贈りするもの：** 賞状、We Support UNICEFステッカー、We Support UNICEFバナー（ホームページ用）
- **お申し込み方法：** 右の申込用紙に必要事項を記入し、FAX、メールあるいは郵便にて以下へお送りください。
  受付・確認後、およそ1ヶ月程度でお送りいたします。

- **申し込み先** **日本ユニセフ協会　学校事業部**
  FAX 03-5789-2034　E-mail se-jcu@unicef.or.jp
  住所 〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス

■ 活動報告をお寄せください

賞のお申し込みと同時に、活動のようすや児童・生徒のみなさんの声、先生方の感想などを差し支えない範囲でお知らせいただけましたら、大変ありがたく存じます。活動事例は、事前確認のうえ、当協会の媒体でご紹介させていただくことがあります。

送信先：日本ユニセフ協会　学校事業部　行
FAX：03-5789-2034　TEL：03-5789-2014　Email：se-jcu@unicef.or.jp

＜申込日　　年　　月　　日＞

We Support UNICEF 賞 申込用紙

学校 / 園名			
学校長 / 園長名	印		
ご担当者名（職）	（　　）　印		
ご住所	〒　　－ 都・道 府・県		
電話	（　　）	FAX	（　　）
Email			

実施された活動について、差し支えない範囲でお知らせください。

活動された方		人数	
活動日時 / 期間			
主な活動場所			
募金額	円　（送金日　　年　　月　　日）		

活動内容について
概要や児童・生徒の皆さんの声・感想、先生の講評など、ぜひお聞かせください

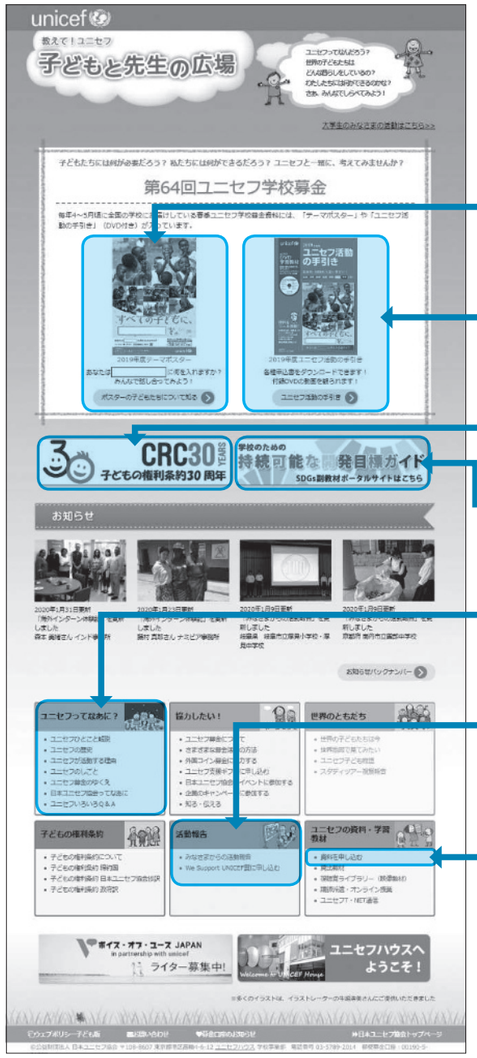
写真や関連資料等ございましたら、こちらと合わせてメール等でお送りいただけますと幸いです。
お寄せいただいた活動事例を当協会媒体（ホームページ・資料等）にてご紹介しても構いませんか？（　はい　・　いいえ　）

学校で使える資料や教材がほしい

「知る」「考える」ための方法とツール

日本ユニセフ協会では、先生方の日頃の授業にお役立ていただけるような、さまざまな資料、貸出教材、視聴覚教材を提供しております。ぜひご活用ください。

学校向けのウェブサイト「子どもと先生の広場」で学ぶ

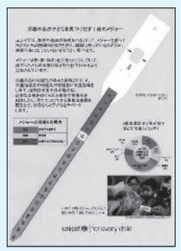


学校向けウェブサイト「子どもと先生の広場」（2020年3月現在）

学校向けウェブサイト **「子どもと先生の広場」**
www.unicef.or.jp/kodomo/

「子どもと先生の広場」でできることの一例

- ○「ポスターを使って話し合ってみよう!」テーマポスターに登場する子どもたちについて知る
- ○DVD収録動画の視聴・「ユニセフ活動の手引き」ダウンロード（学習資料として印刷・配布OK!）
- ○「子どもの権利条約」について学ぶ
- ○SDGs（持続可能な開発目標）について学べるウェブサイト「SDGs CLUB」オープン!（2020年5月予定）
- ○ユニセフについての基本的な情報や子どもに関わる数値を調べる
- ○日本全国の学校からのユニセフ活動の実践事例
- ○各種資料の申し込み、資料PDF、実寸大の上腕計測メジャー（右図）のダウンロード　など



各種SNSでも最新情報を発信しています！

一般向けの日本ユニセフ協会のホームページ（www.unicef.or.jp）からは、報道では目にしにくい世界の子どもに関する様々なニュースや、最新の報告書、データなどをチェックすることができます。YouTube公式チャンネルでは多くの映像を公開しているほか、各種SNSでも情報を発信しておりますので、ぜひフォローしてください。

当協会HP（www.unicef.or.jp）

貸出教材を活用する

以下の教材の貸し出しを行っています。社会、国語、英語、保健、総合的な学習の時間などの教科の授業および文化祭などのイベント、募金活動の前の学習などにお役立てください。

貸出教材の申込先

日本ユニセフ協会　学校事業部
TEL **03-5789-2014（平日9:00～17:00　年末年始を除く）**
Email **se-jcu@unicef.or.jp**

貸出希望の教材名、利用希望日、学校名、担当者名、送付先住所、電話番号をお伝えください。

※貸出期間は、原則として到着から一週間です。返却日は厳守ください。



ネパールの水がめ…水を運ぶ大変さを体験

ネパールの山岳地帯では、安全な水源が住居の近くにないために遠くまで水くみに行かなければならない人たちもいます。この水がめに肩口まで水を入れると、約15Kgの重さになります。
世界には、井戸や川、池など、家から離れた水源から水を運ばなければならない暮らしをしている人がたくさんいます。何時間も水くみに費やし、そのために学校に通うことができない子どももいます。そんな現実を、実際の水の重さとともに知ってください。




オススメ! 水をテーマに学ぶ教材

動画　「13歳のアイシャの一日～水を得るために～」（3分37秒）

1日8時間をかけて水を汲みに行くエチオピアの女の子の一日を追った動画です。

※昨年の「ユニセフ活動の手引き2018年度版」付属のDVDに収録。学校向けウェブサイト「子どもと先生の広場」からも視聴できます。



ユニセフ・ワークブック
いのちの水（B5変形判14ページ）

世界の水に関する問題やユニセフの活動について、すごろくやクイズなど作業を進めながら学ぶことができます。



地雷レプリカ…戦争後も子どもの脅威に

戦争が終わった後も被害を与え続けているのが地雷です。被害者の中には多くの子どもたちも含まれています。ユニセフでは、地雷を見つけたときの対処法を学ぶ地雷教育を広めています。対人地雷や不発弾の木製レプリカ、地雷教育用のポスター、指導用のパワーポイントが入ったキットです。



蚊帳（かや）…マラリアから子どもたちを守る

5歳未満の子どもの主な死亡原因のひとつがマラリアです。マラリアを媒介する蚊は夜行性のため、夜、蚊帳の中で眠れば予防することができます。この蚊帳の広まりとともに、マラリアによる子どもの死亡は減少しています。



※上記の貸出教材の他、栄養不良を判断する上腕計測メジャーや支援物資（栄養治療食、ビタミンA錠剤）なども貸し出し可能です。ご希望の方はお問い合わせください。
※お近くの協定地域組織からも教材を借りることができます。P.29の一覧で貸し出し可能な教材をご確認いただき、協定地域組織に直接お問い合わせください。また、ユニセフ視聴覚ライブラリーでは、DVD・ビデオ、パネルなどの貸し出しも行っています。あわせてご利用ください。（➡**P.25**「ユニセフ視聴覚ライブラリー」）

ユニセフ資料の紹介

右ページの「ユニセフ資料申込書」（FAX:03-5789-2034／Email:se-jcu@unicef.or.jp）、もしくは、当協会のウェブサイト（www.unicef.or.jp/library/library_act.html）からお申込みください。
資料到着まで1週間から10日程度の余裕をみていただけますと幸いです。
資料の総重量が1kgを超える場合、送料のご負担をお願いしております。（「募金活動用に、子どもチラシを全児童/生徒数分取り寄せたい」等、募金活動に関連したご要望の場合は、1kgを超えても送料はいただきません）

ポスター

2020年度テーマポスター
52cm×73cm／無料
街頭募金活動やイベントなどに!学校向けウェブサイト「子どもと先生の広場」ではポスターに登場する子どもたちについてのお話を読むことができます。



ポスターセット ※貸出用のパネルセットもあります。→P.28
52cm×73cm／ポスター10種1セット／1セット　400円

「ユニセフってなぁに?」（2018年4月 改訂版）
保健・水と衛生・栄養・教育・緊急支援・子どもの保護などテーマ別にユニセフの主な活動内容をわかりやすくまとめています。

「子どもたちにやさしい地球を残そう」
世界の子どもたちの置かれた厳しい状況を紹介し、子どもにやさしい地球を残すためにユニセフと一緒に考え行動することを呼びかけます。



（「ユニセフってなぁに?」）

ちらし

子どもチラシ
A5判／無料／小学校低学年～
本手引きとともに小・中学校には全校児童・生徒数分お送りしています。募金活動時の学習・呼びかけ資料としてご活用ください。折りたたむと募金袋になります。



ユニセフ手帳
A3二つ折り／無料／小学校低学年～
子どもチラシよりも詳しくユニセフの活動概要がわかります。切込みを入れて折りたたむと8ページの手帳型になります。



学習資料

子どもの権利条約カードブック（2019年10月増刷版）
B5判30ページ／1冊無料、2冊目から90円／小学校高学年～
「子どもの権利条約」1条～40条をやさしく抄訳したイラスト付のカードブック。切り離してカード状にすると様々な使い方を工夫できます。カードの裏面には各条文の原文（政府公式訳）がついています。カードを活用したアクティビティ例も掲載。



ユニセフと世界のともだち（2013年改訂版）
B5判48ページ／無料／小学校中学年～
ユニセフの歴史や活動、世界の子どもたちのようすや課題などを写真やイラストを豊富に取り入れて、詳しく説明しています。



ユニセフ・ワークブック　いのちの水
B5変形判14ページ／無料／小学校中学年～
世界の水に関する問題やユニセフの活動について、すごろくやクイズなど作業を進めながら学ぶことができます。

地図でユニセフ
B5判32ページ／1冊無料2冊目から60円／小学校中学年～
世界子供白書のデータをもとに、地図を見たり、地図で作業をしたりしながら、世界の状況やユニセフの活動を学べる教材です。

SDGs副教材
「私たちがつくる持続可能な世界～SDGsをナビにして～」
A4判巻三つ折り／無料／小学校高学年～
現在の地球上の課題を知り、考えるとともに、自分にできることやみんなで協力したらできることなどを見出す。そうした学習活動にお役立て下さい。本教材専用のポータルサイトは調べ学習に最適です。指導用参考資料もあります。



世界子供白書2017
A4判215ページ
1冊無料／2冊目から620円／一般向け
世界の子どもたちの状況について毎年ユニセフが発行する白書。2017年のテーマは「デジタル世界の子どもたち」。※最新版（2019）日本語版を2020年夏頃に刊行予定です。（有料）



絵本「ユニセフとえがおのひみつ」
A4判22ページ／1冊無料　2冊目から140円／幼児・小学校低学年向け
ユニセフの活動の世界の子どもたちの様子が分かる絵本型資料です。

絵本「ちきゅうからのしつもん」
A4判22ページ／1冊無料　2冊目から60円／幼稚園・保育園～
太陽・海・動物など自分たちの身近なところから地球のことを考える絵本です。

送信先：（公財）日本ユニセフ協会　学校事業部　行
FAX：03-5789-2034　TEL：03-5789-2014　Email：se-jcu@unicef.or.jp

＜申込日　　年　　月　　日＞

ユニセフ資料 申込用紙

■ 送付先情報

学校 / 園名			
ご担当者名（職）			
ご住所	〒　　－ 都・道 府・県		
電話	（　　）	FAX	（　　）
Email			

■希望資料

※希望するものに○をつけてください。これ以外の資料をご希望の方は下の空欄に希望資料名と数量をご記入ください。

希望	資料名	単価	希望数	資料代
	テーマポスター（　　年度）	無料	枚	
	子どもチラシ	無料	枚	
	ユニセフ手帳	無料	枚	
	ポスターセット 「ユニセフってなぁに？」	10 枚 1 セット 400 円	セット	円
	ポスターセット 「子どもたちにやさしい地球を～」	10 枚 1 セット 400 円	セット	円
	子どもの権利条約カードブック	1 冊まで無料 2 冊目から 90 円	冊	円
	SDGs 副教材 「私たちがつくる持続可能な世界」	無料	部	
	ユニセフと世界のともだち	無料	冊	
	ユニセフ・ワークブック　いのちの水	無料	冊	
	世界子供白書 2017	620円／冊	冊	円
	地図でユニセフ	1 冊まで無料 2 冊目から 60 円	冊	円
	絵本「ユニセフとえがおのひみつ」	1 冊まで無料 2 冊目から140円	冊	円
	絵本「ちきゅうからのしつもん」	1 冊まで無料 2 冊目から 60 円	冊	円

※資料重量が 1 kg を超える場合は、原則として送料をいただいております。
※資料送付時に、資料代に送料を加えた額を記載した振込用紙を同封いたします。

修学旅行・社会科見学でユニセフハウスを訪問したい

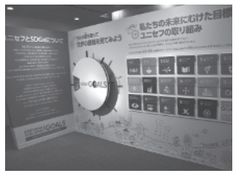
ユニセフハウス展示見学

ユニセフハウスには、開発途上国の保健センターや学校を再現したスペース、緊急支援用のテントなどがあり、実際に現地で使用されている支援物資などを手に取ってみることができます。
ボランティアによるガイドツアーに参加されると、より深い学びにつなげることができます。修学旅行や社会科見学、夏休みの自由研究などの機会にぜひご訪問ください。入館料およびガイドツアーは無料です。


ボランティアによるガイドツアー（無料・要予約）


開発途上国の学校


緊急支援用のテント


SDGs（持続可能な開発目標）展示



品川駅からユニセフハウスは徒歩7分

ユニセフハウス開館日時

月曜日～金曜日、第2・第4土曜日（祝祭日、年末年始を除く）10:00～17:00

ガイドツアー予約について

ガイドツアー実施時間（1日4回、各回90分）
①10:00～11:30　②11:30～13:00
③13:00～14:30　④14:30～16:00
※16:00以降のご訪問についてはご相談ください

ガイドツアーの内容
・ビデオ視聴（約15分）
・展示スペースの見学と説明（約60分）
・質疑応答、アンケートなど（約15分）

ご予約方法
Step.1 お電話（03-5789-2014）でご希望の日時、人数をご連絡ください。予約状況を確認し、空いている場合は仮予約とさせていただきます。
Step.2 仮予約後、右ページの「ユニセフハウス訪問依頼書」をご記入のうえ、FAX（03-5789-2034）または郵送でお送りください。
Step.3 正式な予約手続き完了後、訪問確認書をお送りいたします。訪問確認書の貴校への到着をもって予約の確定となります。

※仮予約の前に依頼書をお送りいただきませんようお願いいたします。
※ご予約キャンセルと人数変更は事前にご連絡ください。

ご注意
・例年4～6月および10～11月は混み合います。夏休み期間中も混み合う時期がございます。早めのご予約をお願いいたします。
・駐車場はバス2台（車高3.5mまで）程度のスペースがありますが、予約はできません。バスでお越しの際は事前にご連絡ください。
・館内でお食事はできません。
・訪問時に募金をお持ちくださる際は事前にご連絡ください。当日お渡しできるお礼状をご用意いたします。
・最大受入可能人数は130名ですが、予約状況やイベント等によって受入可能人数が変わる場合がございます。
・展示スペースの写真撮影をすることはできますが、ビデオ撮影は原則ご遠慮いただいております。特別な事情がある場合には学校事業部までご相談ください。

展示スペースはウェブページからもご覧いただけます。
ユニセフハウス で 検索



こちらから訪問依頼書のダウンロードもできます。

Event ユニセフハウスで開催されるセミナーや講座にもご参加ください

セミナーや講座、現地事務所のユニセフ職員による報告会などを実施しています。各イベントの詳細は、ホームページでご案内するほか、メールマガジンでも情報をお知らせしております。メールマガジンでの情報配信をご希望の方は、タイトルに「メルマガ希望」と記入の上、se-jcu@unicef.or.jpにメールを送信してください。
また、**ユニセフハウスで当協会職員を講師として、教職員対象の研修会を行うことも可能です。**ご相談ください。

送信先：（公財）日本ユニセフ協会　学校事業部　行
FAX：03-5789-2034　TEL：03-5789-2014　Email：se-jcu@unicef.or.jp

＜申込日　　年　　月　　日＞

ユニセフハウス訪問依頼書

学校情報

フリガナ			
訪問団体・学校 / 園名			
責任者名（職）	（　　）　印		
ご担当者名（職）	（　　）　印		
ご住所	〒　　－ 都・道 府・県		
電　話	（　　）	FAX	（　　）
Email			

ユニセフハウス訪問希望

日　時	年　月　日（　）　時　分～　時　分 ガイド時間枠　①10:00～11:30　②11:30～13:00　③13:00～14:30　④14:30～16:00 ※16:00以降はご相談ください。	
訪問予定者 ※最大130名まで。受入可能人数は日時によって変わります。	教員	名
	児童・生徒・学生　※（　　）年生	名
	その他	名
目　的	□展示見学　□下見見学（実地踏査）　□募金贈呈　□学習資料収集	
今後の取り組み	※今回の訪問を機に、学校・園でどのような活動、取り組みをお考えですか。また、訪問前に事前学習をされている場合はその内容をお知らせください。	
質問事項など	※後日送付される場合は、2週間前までに訪問日を明記の上FAXでお送りください。	
ユニセフハウスまでの交通手段	□鉄道（JR線・京浜急行・都営浅草線）　□バス（大型　　台・中型　　台）	

アンケート

これまで、貴校（貴団体）で当協会の講師派遣や資料、視聴覚ライブラリーを活用したことはありますか？

これまで、貴校（貴団体）でユニセフの募金活動に取り組んだことはありますか？

※本「訪問依頼書」を受領後に、周辺地図の入った「訪問確認書」をFAXにてお送りいたします。

講演会や授業に講師派遣を利用したい

講師派遣・オンライン授業

ユニセフ学校募金などの活動をお考えの学校へ、当協会および全国26の道府県にある協定地域組織（地域にあるユニセフ協会）のスタッフ・ボランティアによる講師派遣を実施しております。総合的な学習の時間や、生徒会・児童会の特別活動、PTAの講演会、文化祭等のイベントにあわせて、世界の子どもたちやユニセフについての授業や講演会を企画してみませんか。
また、「児童会・生徒会メンバーなど少人数を対象にした活動前の事前学習が行いたい」、「質問に答えてもらいたい」、「近くに講師派遣をしてくれる協会がない」などの場合は、オンライン授業をご活用ください。

	講師派遣（ユニセフ教室・講演会）	オンライン授業
		
授業内容	世界のさまざまな子どもたちの現状やユニセフの支援について、映像や資料をまじえた授業を行っています。「紛争下の子ども」や「SDGs（持続可能な開発目標）」、「子どもの権利条約」など、特定のテーマの希望がある場合はその旨お伝えください。ユニセフと関連のあるテーマであれば、可能な範囲で対応いたします。また、水がめを使った水運びなど、体験学習も実施しております。	
授業時間	45～90分程度 （ご希望に合わせて柔軟に対応いたします）	短時間～
人数	学年単位以上	少人数～全校
費用	・講師の交通費（往復） ・資料・使用する資材（水がめや蚊帳など）の往復送料	無料 ※ただし、水がめや蚊帳などの資材、資料をご希望の場合は送料がかかります。
準備	パワーポイントを使用できるコンピューターやDVD再生機器、プロジェクター・スクリーン、マイク・スピーカー等	オンラインの無料通話ソフト（Skype、Zoom、Googleハングアウトなど）ができるパソコン環境（カメラ・マイク含む）
申込方法	• 「講師派遣・オンライン授業依頼書」（右ページ）を**授業実施希望日の1カ月前**までにお送りください。依頼書の受領後、担当スタッフから授業の内容や使用機材、資料、費用等についてご連絡、ご相談申し上げます。 • お近くの協定地域組織（地域にあるユニセフ協会）に直接お問い合わせ・お申し込みいただいても構いません。（➡**P.30**「協定地域組織」）	
その他	• オンライン授業で使用する無料通話ソフトや、その他ご不明の点については、日本ユニセフ協会 学校事業部（TEL:03-5789-2014）までお問い合わせください。 • 近隣に協定地域組織がない県については、オンライン授業をお願いしております。 • **教職員対象の研修会（国際理解教育、人権教育、ESD、総合的な学習の時間、道徳、各教科の研修など）への講師派遣も、日本ユニセフ協会 学校事業部（TEL:03-5789-2014）までご相談ください。**	

送信先：（公財）日本ユニセフ協会　学校事業部　行
FAX：03-5789-2034　TEL：03-5789-2014　Email：se-jcu@unicef.or.jp

＜申込日　　年　　月　　日＞

講師派遣（ユニセフ教室・講演会）・オンライン授業　依頼書

〈 講師派遣・オンライン授業　どちらかに○ 〉

フリガナ			
実施団体・学校 / 園名			
責任者名（職）	（　　） ㊞		
ご担当者名（職）	（　　） ㊞		
ご住所	〒　　ー 都・道 府・県		
電　話	（　　）	FAX	（　　）
Email			

■ 希望日時 ①　　年　月　日（　）　時　分～　時　分
②　　年　月　日（　）　時　分～　時　分
③　　年　月　日（　）　時　分～　時　分

■ 対象者（学年・人数）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

■ 会 場：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

■ 目的およびユニセフ教室後の活動（教育活動や教科の中での位置づけ）など：

■ 希望する内容：

■ 最寄駅から会場までの交通手段（オンライン授業ご希望の場合、Google ハングアウト、Skype など使用予定のアプリケーション、カメラの有無など）：

アンケート
1）これまで、貴校（貴団体）で当協会の講師派遣や資料、視聴覚ライブラリーを活用したことはありますか?
2）これまで、貴校（貴団体）でユニセフの募金活動に取り組んだことはありますか?

ご確認のうえ、チェックをお願いします。

☐ 交通費と授業で使用する資材の送料（往復）のご負担をお願いいたします。
☐ 希望日時は原則的に第 3 希望までご記入ください。ご希望の日時でお受けできない場合は、別途ご相談申し上げます。

ユニセフ視聴覚ライブラリーを利用したい

ユニセフ視聴覚ライブラリー

日本ユニセフ協会では、各地の協力機関を通じて、DVDやパネルなどの視聴覚教材を貸し出しています。どうぞお気軽にご利用ください。

ユニセフ視聴覚ライブラリー　利用方法



①借りたいDVDやパネルを選び、最寄りの貸出機関（➡P.29-30）に電話をかける。
②利用目的と期間（到着希望日と終了後の発送日）を伝える。
③利用者の氏名・住所（送付先）・電話番号を伝える。

※受付日や時間は、貸出機関ごとに異なりますので、P.29-30の表でご確認ください。
※往復の費用は利用者の負担となります。
※返却日は必ずお守りください。また、返却先（借りた貸出機関）をP.29-30の表で確認のうえ、お間違いのないようにご返却ください。
※DVD等のダビングを希望される方には、事前に目的外の使用や編集をしない旨、誓約書のご提出をお願いしております。誓約書の用紙は各貸出機関からお取り寄せください。（ダビングできないものもありますので、ご注意ください。）
※借りたものの破損等には十分ご注意ください。万が一、破損した場合には、速やかに貸出機関にご連絡ください。原則として補修費用のご負担をお願いいたします。

DVD・ビデオ

※各タイトルで使用されている数値や内容はその制作年当時のものです。
※そのタイトルの内容を理解するのに適当な校種を示しています。 幼：幼児以上 小：小学生以上 中：中学生以上 高：高校生以上
※ YouTube でも映像を見ることができるタイトルには YouTube のマークがついています。
日本ユニセフ協会の YouTube 公式チャンネルから、タイトルで検索してください。

はじめてユニセフを学習するときに



ユニセフと地球のともだち 14分　YouTube 小

保健、水、栄養、教育、保護、緊急支援の6つを柱としたユニセフの活動を、現地の子どもたちの声や映像で紹介します。また、ユニセフの歴史や、日本へのユニセフの支援についても触れています。ユニセフと世界の子どもたちの現状について基礎から学ぶことができます。項目ごとに分けて見ることも可能です。（2016年改訂・字幕版・英語版あり）



「シュヌン・シュヌン」（聞いてください）— 子どもたちからのメッセージ — 16分　YouTube 小 中学年

「シュヌン」とはベンガル語で「聞いてください」という意味。南アジアのスラム街で「シュヌンシュヌン!」と予防接種を呼びかけ、ポリオ撲滅のために活動する子どもたちなど、さまざまな境遇の子どもたちが登場します。栄養不良、難民、教育などのテーマに加え、子どもの参画や公平性の概念などのテーマも扱っています。（2014年制作）

ユニセフの歴史やテーマごとに学習をするときに



ユニセフの歴史 6分　YouTube 小 高学年

ユニセフは、第二次世界大戦後、戦争で被害を受けた子どもへの支援のために創設されました。いまでは開発途上国で、保健、水と衛生、教育など、子どもたちの命と健やかな成長を守る活動を行っています。その活動と歴史をわかりやすく紹介します。（2011年制作）



子どもの命と健康を守るために 6分　YouTube 小 高学年

守ることができるはずの幼い命が今も失われています。世界中のすべての子どもたちが、十分なケアを受け、健やかに成長できるように、ユニセフが各地で取り組んでいるさまざまな活動を紹介します。（2011年制作）



すべての子どもに教育を 6分　YouTube 小 高学年

学校に通いたいのに通えない。貧しさや学校がないなどさまざまな理由で学校に通えない子どもたち。すべての子どもが教育を受けられるように、ユニセフが実施している活動を、子どもたちの声や笑顔とともに紹介します。（2011年制作）



HIV/エイズとのたたかい 6分　YouTube 小 高学年

HIV/エイズによって厳しい状況におかれる多くの子どもたち。出生時に感染してしまった子ども、親をエイズで亡くした子ども。HIV /エイズから子どもたちを守ることも、ユニセフの活動のひとつです。HIV /エイズの予防、治療、教育、ケアに取り組むユニセフの活動を紹介します。（2011年制作）



子どもの保護と緊急支援 7分　YouTube 小 高学年

多くの子どもたちが暴力や搾取、差別、虐待などの危険にさらされています。過酷な労働をさせられる子ども。紛争に巻き込まれる子ども。出生登録がないために「公式に存在」せず誕生日も知らない子ども。こうした現実やユニセフの緊急支援活動を紹介します。（2011年制作）



この世界に生きる子どもたち 15分　YouTube 小 高学年

女子教育、子どもの兵士、HIV/エイズなど、世界のさまざまな場所で厳しい現実に直面している子どもたちと、そうした子どもたちを守るユニセフの取り組みを紹介します。（2006年制作）



子どもたちこそ明日の世界 10分　小 高学年

1990年に開催された「子どものための世界サミット」。当時は1日4万人も失われていた子どもの命をどう守るか、その方策が話し合われ、また、それを実行することが約束されました。将来の世界の主役である子どもたちに、また、平和に向けて制作された作品です。（1990年制作）

幼い子どもから学べる



なぜユニセフ募金なの? 10分　YouTube 幼

不自由ない生活をしている私たち。でももし、電気、水道、病院、食べ物がなくなってしまったら?こうした基本的なニーズが満たされない厳しい生活があることを想像し、ユニセフへの協力を呼びかけるアニメーション作品です。（2010年画像修復版）



タムタムとビルの街 12分　YouTube 幼

灰色の空の下で暮らすビルの街の友だちには青空を、乾いた砂漠に住む友だちには雨をプレゼント。世界の子どもたちが互いを学びあい、平等な立場で助け合うことをテーマにしたアニメーション作品です。（1984年制作）

個別の国の状況について知る



ベトナム・ディエンビエンの子どもたち 15分　YouTube 小

急速な経済発展のイメージと裏腹に、特に山間部で暮らす少数民族の人びとはその流れから取り残され、厳しい暮らしを送っています。豊かさとは何か、公平性とは何かを、少数民族の女の子の生活を通して考えます。（2013年制作）



いのちの水　西アフリカ・マリからの報告 15分　YouTube 小 高学年

安全な水やトイレがないことが、多くの子どもたちの健康を脅かしています。世界の水や衛生の現状とともに、マリ共和国で村に井戸がつくられ、それによって変わっていく現地の人びとの生活を伝えています。開発途上国におけるユニセフの活動もよくわかる作品です。（2008年制作）



カンボジアの子どもと未来 —教育と識字プロジェクト— 15分　小 高学年

1998年に戦争が終わったカンボジアでは、特に農村部で、保健や安全な水が行き届かず、栄養不良が広がり、子どもたちの健やかな成長が脅かされています。こうした暮らしを改善してゆくためにユニセフが実施している教育や識字教育プロジェクトを紹介します。（2008年制作）



すべての人にきれいな水を —ネパールからの報告— 17分　YouTube 小 高学年

ヒマラヤ山脈で知られる南アジアの国、ネパール。安全な飲料水の確保に苦労している人が多く、時間も労力もかかる水汲みは主に女性と子どもたちの仕事です。カルカ村、ハンディコーラ村、パルサ村を例に各地での給水と衛生の取り組みを紹介します。（1993年制作）

戦争・搾取・虐待…特に厳しい状況下の子どもたちを知る



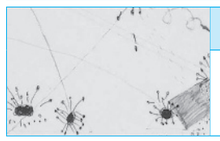
子どもの権利を買わないで —プンとミーチャのものがたり— 15分
YouTube 小 高学年

山村で暮らしていた女の子プンは、ある日村にやって来た男に連れられ、都会で働くことになります。そこでプンを待ち受けていたのは…。子どもの権利のもっとも深刻な侵害のひとつ「子どもの商業的性的搾取」の問題をわかりやすく紹介するアニメーション作品です。（2001年制作）



子どもと武力紛争 —世界から子ども兵士をなくそう— 12分
YouTube 中

現在も世界各地で武力紛争が続いています。子どもたちが兵士として使われ、身体と心に深い傷を負っています。こうした子どもたちの状況を伝え、子どもを紛争に巻き込まないためにできることを呼びかけています。（1999年制作）



I DREAM OF PEACE（英語） 6分
ビデオ 中

戦争によって深い傷を負った子どもの心を癒すために、その体験や素直な感情を絵や詩に表現する心理療法があります。内戦の犠牲になった旧ユーゴスラビアの子どもたちが描いた絵を通して、子どもたちの抱える苦しみと夢を伝えます。（1994年制作）



I am a child 8分
ビデオ 中

多くの子どもが児童労働に従事しています。中には、心身の発達に害を与える危険な労働を強いられている子どもも多く存在します。ケニア、タイ、ブラジルで働く子どもたちのようすを伝えるこの作品は、児童労働の撲滅に向けて強いメッセージを発信しています。※ダビング不可（ILO制作、1996年）



子どもの権利 16分
YouTube 中

1990年の「子どもの権利条約」発効後も、子どもの権利が無視されている状況が続いています。児童労働や虐待で苦しむ子どもや戦時下の子どもの状況などを伝えると同時に、「子どもの権利」の実現に向けて力を尽くすよう訴える作品です。（1992年制作）

ユニセフが現地での啓発のために開発したアニメーション作品



ミーナ　にわとりなんわ 13分
YouTube 幼

南アジア地域では、社会慣習により女性が不利な立場に置かれ、女子は教育の機会を奪われがちです。この地域で女子教育を広めるために制作された啓発ビデオです。お父さんの反対で学校に行けないミーナ。ペットのオウムを学校に行かせ、オウムから数の数え方を教えてもらいます。それをきっかけにして…（1996年制作）



ミーナ　はんぶんこしよう 13分
YouTube 幼

女性や女子がより重い労働負担を強いられることが多い南アジア地域。この地域で女性の状況改善を啓発するために制作された啓発ビデオです。弟と同じように学校に通えるようになったミーナ。ところが食事の量は弟より少なく、家の仕事は弟よりずっと大変です。ミーナと弟が家の仕事を交換してみたら…（1996年制作）



サラ　すてきなおくりもの 17分
小

東南アフリカ地域で、女子への支援プログラムの一環で制作された啓発ビデオです。中学校に通うことを楽しみにしていたサラ、お金がないことを理由にもう学校に通わせられないと言われます。ある日、借りた本を読んでサラは素敵なことを思いつきます。（1997年制作）

日本の子どもたちが登場する作品



世界の12歳 15分
YouTube 小 高学年

日本の14人の12歳の子どもたちが、バングラデシュ、ガーナ、クロアチア、オーストラリアの子どもたちを訪ねます。異文化に触れ、友情を深め、相手の国を理解してゆくドキュメンタリー。児童婚、労働、紛争、多民族問題といった世界の課題について自分たちができることを考えます。※ダビング不可（1998年制作）



だれが守るの地球 —地球サミット／アジェンダ21— 13分
YouTube ビデオ 小 高学年

1992年にリオデジャネイロで開かれた「国連環境会議」。子どもの代表スズキさんとサイードさんの発言を紹介します。また、ブラジル・ファベイラの生活改善、滋賀県栗東市立大宝小学校の環境授業、ケニアの植林の事例を通じて、子どもの参加を呼びかけています。（1993年制作）

世界子供白書シリーズ

世界子供白書2006 —存在しない子どもたち— 16分
中

出生登録がないことで、その存在が公に認知されず、基礎的な保健や医療、教育などのサービスを受けることができない子どもたちがいます。なぜ子どもたちは社会から「見えない存在」になってしまうのか、その原因と課題、解決策を探っています。（2006年制作）

世界子供白書2007 —女性と子ども— 16分
ビデオ 高

教育や仕事の機会など、ジェンダーによる差別は世界中で広く見られます。差別をなくし、女性の地位が向上することによってどのような変化がもたらされるでしょうか?「子どもの権利」実現のカギをにぎる女性のエンパワーメントに焦点を当てて紹介しています。（2007年制作）

世界子供白書2008 —子どもの生存— 12分
ビデオ 高

子どもの保健分野では大きな前進が見られる一方、いまだ多くの命が失われています。子どもの生存に関し、前進を加速させるためには、保健システムの強化が重要です。コミュニティを基盤とする保健ケアの取り組みを紹介しています。（2009年制作）

世界子供白書2009 —妊産婦と新生児の保健— 17分
YouTube 高

多くの女性が妊娠や出産に関連して命を失っていますが、その危険は、先進国と開発途上国の間で数百倍以上の格差が存在しています。妊産婦の死亡につながる要因や母親と新生児を守るためのコミュニティでの取り組みを紹介しています。（2010年制作）

「ユニセフ活動の手引き」付属DVD

2018年度　ユニセフDVD学習教材 （7タイトル収録）
YouTube

❶片足を失った少女「将来は体操のコーチに」 ❷長谷部誠 エチオピア「ワクチンの旅」 ❸13歳アイシャの一日〜水を得るために〜 ❹心の鼓動〜シリアの子どもたちから世界へ歌のメッセージ〜 ❺100円の旅 ❻世界に広めよう「持続可能な開発目標(SDGs)」I ❼ユニセフと地球のともだち

2019年度　ユニセフDVD学習教材 （10タイトル収録）
YouTube

❶あなたにとって平和とは?〜シリア 難民キャンプの子どもたちの声〜 ❷教育をあきらめたくない〜ロヒンギャ難民のラシェッド君〜 ❸子ども兵士から解放されたジョセフ君 ❹IMAGINE(イマジン)ユニセフバージョン ❺思いがけないインタビュー ❻100円の旅 ❼世界に広めよう「持続可能な開発目標(SDGs)」II ❽ユニセフと地球のともだち（長谷部誠　日本ユニセフ協会大使の活動:❾日本の子どもたちへのメッセージ ❿【ユニセフ公共CM】難民キャンプ編）

パネル

アルミフレーム枠カラー刷パネル（520 × 730mm）10 枚 1 セット

ユニセフってなぁに?
保健・水と衛生・栄養・教育・緊急支援・女性への支援などテーマ別に、ユニセフの主な活動内容をわかりやすくまとめて紹介しています。（2018年制作）



子どもたちにやさしい地球を残そう
現在、子どもたちが置かれている厳しい状況を紹介するとともに、子どもたちにやさしい地球を残すために、ユニセフと一緒に考え、行動することを呼びかけています。（2013年制作）



上記の2タイトルは、ポスターセット（四つ折りで封筒に入ったもの）の提供が可能です。（➡P.19「ユニセフ資料の紹介」）

子どもの参加が未来をつくる
子どもは年齢に応じて、社会とのつながりを広げていきます。社会への参加を通し、様々な体験をして、視野を広げ、自分がおとなに成長したときに果たす役割について学んでいきます。（2003年制作）

ひとりひとりが大きな力
子どもの権利を脅かしている世界のさまざまな問題。よりよい未来のためにひとりひとりが力を発揮して問題に取り組もうと訴えます。（2002年制作）

わたしも学校へ行きたい
世界には家事労働などで通学できない女の子が男の子よりも多くいます。その状況への理解と、いまだ解決を必要とされる諸問題に取り組む必要性を、子どもたちの視線から訴えています。（2004年制作）

守られているの?子どもの権利
「子どもの権利条約」でうたわれている権利と、基本的な権利を守られていない子どもの状況とユニセフの活動を紹介します。（2000年制作）

ユニセフ視聴覚ライブラリーを利用したい

全国の貸出機関と協定地域組織

ユニセフ視聴覚ライブラリーは、以下の貸出機関および日本ユニセフ協会の協定地域組織でご利用いただけます。
協定地域組織では、学習会、講演会、写真展、募金活動などを実施し、学校への講師派遣も受け付けております。協定地域組織がない県でも、地域によっては近隣の協定地域組織からの訪問が可能な場合がありますのでご相談ください。



ユニセフ視聴覚ライブラリー　貸出機関

DVD・ビデオ　パネル

機 関 名	貸出アイテム	電話番号	受付日時	住　所
東日本を中心に全国へ貸し出し				
ユニセフライブラリー	DVD・パネル	03-5789-2014	9:00～17:00 ㊡ 土・日・祝	〒343-0851　越谷市七左町4-301 共同物流 ユニセフライブラリー係
原則、所在県府内対象に貸し出し（発送サービスあり）				
（公財）岩手県国際交流協会	DVD ※ DVD のみ	019-654-8900	9:00～20:00 ㊡ アイーナ休館日 12/29～1/3	〒020-0045　盛岡市盛岡駅西通1-7-1 いわて県民情報交流センター「アイーナ」5F　国際交流センター内
（公財）秋田県国際交流協会	DVD	018-893-5499	9:00～17:45 ㊡ 第1, 2, 4, 5 土・日・祝、第3土曜日の翌月曜日	〒010-0001　秋田市中通2-3-8 アトリオン1F
（公財）栃木県国際交流協会	DVD ※ DVD のみ	028-621-0777	9:00～17:00（火～土） ㊡ 月・日・祝	〒320-0033　宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
（公財）静岡県国際交流協会	DVD ※ DVD のみ	054-202-3411	8:30～17:15 ㊡ 土・日・祝	〒422-8067　静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2F
（公財）名古屋国際センター ライブラリー	DVD ※ DVD のみ	052-581-0102	9:00～19:00（火～日） ㊡ 月／2月・8月の第2日曜日・12/29～1/3	〒450-0001　名古屋市中村区那古野1-47-1
（公財）豊田市国際交流協会	DVD	0565-33-5931	9:00～19:00（火～金） 9:00～17:00（土・日） ㊡ 月（豊田市とその周辺対象）	〒471-0034　豊田市小坂本町1-25 豊田産業文化センター3F
（公財）とやま国際センター	DVD	076-444-2500	9:00～17:45 ㊡ 土・日・祝	〒930-0856　富山市牛島新町5番5号 インテックビル4F
（公財）福井県国際交流協会	DVD	0776-28-8800	9:00～18:00（第2月・水・金・土・日） 9:00～20:00（火・木） ㊡ 第2以外の月・祝	〒910-0004　福井市宝永3-1-1
日本国際連合協会 京都本部事務局	DVD	075-211-3911	10:00～17:00 ㊡ 土・日・祝 学校・団体・企業のみ貸し出し可	〒604-0862　京都市中京区烏丸通り夷川上ル 第7長谷ビル8F
熊本県教育庁義務教育課	DVD	096-333-2688 （ダイヤルイン）	10:00～17:00 ㊡ 土・日・祝	〒862-8609　熊本市中央区水前寺6-18-1
（公財）鹿児島県国際交流協会	DVD・パネル	099-221-6620	9:00～17:00 ㊡ 月（祝日の場合火）	〒892-0816　鹿児島市山下町14-50 かごしま県民交流センター1F

機 関 名	貸出アイテム	電話番号	受付日時	住　所
沖縄県視聴覚ライブラリー	DVD	098-864-0474	8:30～17:15 ㊡ 土・日・祝	〒900-0029　那覇市旭町116-37（沖縄県南部合同庁舎4F）　沖縄県教育庁生涯学習振興課生涯学習推進センター
訪問して利用することができます（発送サービスなし）				
神奈川県立地球市民かながわプラザ　情報フォーラム	DVD	045-896-2977	9:00～20:00（火～金） 9:00～17:00（土日祝） ㊡ 月（祝日の場合開館） 県内在住・在勤・在学の方対象	〒247-0007　横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 2F
（公財）大阪国際交流センター	DVD	06-6773-8989	平日　9:00～19:00 土・日・祝　9:00～17:30 ㊡ 12/29～1/3・臨時休館日	〒543-0001　大阪市天王寺区上本町8-2-6

協定地域組織

DVD・ビデオ　パネル　水がめ　地雷レプリカ　蚊帳

名　称	貸出アイテム	電話番号 FAX 番号	受付曜日・時間	住　所
北海道ユニセフ協会	DVD・パネル・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	011-671-5717 011-671-5758	月・火・木・金　10:00～16:00	〒063-8501　札幌市西区発寒11条5-10-1 コープさっぽろ本部2F
岩手県ユニセフ協会	DVD・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	019-687-4460 019-687-4491	月～金　10:00～16:00	〒020-0690　岩手県滝沢市土沢220-3 いわて生協本部2F
宮城県ユニセフ協会	DVD・パネル・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	022-218-5358 022-218-3663	月～金　10:00～17:00	〒981-3194　仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協A棟3階
福島県ユニセフ協会	DVD・パネル・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	024-522-5566 024-522-2295	月～金　10:00～16:00	〒960-8105　福島市仲間町4-8 ラコパふくしま4F
茨城県ユニセフ協会	DVD・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	029-224-3020 029-224-1842	月～金　10:00～16:00	〒310-0022　水戸市梅香1-5-5 茨城県JA会館分館5F
埼玉県ユニセフ協会	DVD・パネル・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	048-823-3932 048-823-3978	月～金　10:30～16:30	〒336-0018　さいたま市南区南本町2-10-10 コープみらい コーププラザ浦和1F
千葉県ユニセフ協会	DVD・パネル	043-226-3171 043-226-3172	月～金　10:00～16:00	〒264-0029　千葉市若葉区桜木北2-26-30 コープみらい 千葉エリア桜木事務所 本館
神奈川県ユニセフ協会	DVD・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	045-334-8950 045-334-8951	月～土 ※祝日除く 10:00～17:00	〒231-0063　横浜市中区花咲町2-57 ミシナビル201
岐阜県ユニセフ協会	DVD・パネル・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	058-379-1781 058-379-1782	月・火・木・金　10:00～16:00	〒509-0197　各務原市鵜沼各務原町1-4-1 生活協同組合コープぎふ1F
石川県ユニセフ協会	DVD・パネル・水がめ・地雷レプリカ	076-255-7997 076-255-7185	月・火・水・金　10:00～15:00	〒920-0362　金沢市古府2-189 コープいしかわ古府センター2F
三重県ユニセフ協会	DVD・パネル・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	059-273-5722 059-273-5758	月・水・金　10:00～17:00	〒514-0009　津市羽所町379番地 コープみえ本部ビル1F
奈良県ユニセフ協会	DVD・パネル・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	0742-25-3005 0742-25-3008	月～木　11:00～16:00	〒630-8252　奈良市内侍原町6番地の1 奈良県林業会館2F
大阪ユニセフ協会	DVD・パネル・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	06-6645-5123 06-6645-5124	火～土　11:00～16:00	〒556-0017　大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル2F
京都綾部ユニセフ協会	水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	0773-40-2322 0773-45-4090	月～木　10:00～15:00	〒623-0021　綾部市本町2-14 あやべハートセンター内
兵庫県ユニセフ協会	DVD・パネル・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	078-435-1605 078-451-9830	月～金　10:00～16:00	〒658-0081　神戸市東灘区田中町5-3-18 コープこうべ生活文化センター4F
鳥取県ユニセフ協会	DVD・パネル・水がめ・蚊帳	0858-71-0970 0858-71-0970	月・火・金　10:00～16:00、 水　10:00～12:00	〒680-1202　鳥取市河原町布袋597-1 鳥取県生協内
岡山ユニセフ協会	DVD・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	086-227-1889 086-227-1889	月・火・木・金　10:00～15:00	〒700-0823　岡山市北区丸の内1-14-12 小野アルミビル2F
広島県ユニセフ協会	DVD・水がめ・蚊帳	082-231-8855 082-231-8855	月～金　10:00～16:00	〒730-0802　広島市中区本川町2-6-11 第7ウエノヤビル5F
山口県ユニセフ協会	水がめ・蚊帳	083-902-2266 083-928-5416	月～金　10:00～16:00	〒753-0083　山口市後河原210番地
香川県ユニセフ協会	DVD・パネル・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	087-813-0772 087-813-0772	月・火・木・金　10:00～16:00、 水　14:00～18:00	〒760-0023　高松市寿町1-4-3 高松中央通りビル3F
愛媛県ユニセフ協会	DVD・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	089-931-5369 089-931-5369	月～金　10:00～16:00	〒790-0003　松山市三番町5-13-10 リバップビル201号
久留米ユニセフ協会	水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	0942-37-7121 0942-37-7139	月・水・金　9:00～16:00	〒830-0022　久留米市城南町15-5 久留米商工会館2F
佐賀県ユニセフ協会	水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	0952-28-2077 0952-28-2077	月・火・木・金　10:00～15:00	〒840-0054　佐賀市水ヶ江4-2-2
熊本県ユニセフ協会	DVD・パネル・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	096-362-5757 096-362-5758	月・水・木・金　10:00～14:00	〒862-0949　熊本市中央区国府1丁目11-2 サンアイ水前寺ビル3F
宮崎県ユニセフ協会	DVD・水がめ・地雷レプリカ・蚊帳	0985-31-3808 0985-31-3808	月・火・木・金　11:00～16:00	〒880-0014　宮崎市鶴島2-9-6 みやざきNPOハウス307号
鹿児島県ユニセフ協会	DVD・水がめ・蚊帳	099-226-3492 099-226-3492	月～金　10:00～15:00、 水　10:00～12:00	〒892-0842　鹿児島市東千石町14-2 メガネのヨネザワ5F

※年末年始等、別途お休みが入ることがあります。

募金の送金方法

ユニセフ募金へのあたたかいご協力、誠にありがとうございます。集まりました募金は本冊子に綴じ込みの振込用紙をご利用のうえ、郵便局からご送金ください。
ゆうちょ銀行・郵便局に備え付けの用紙をご利用の場合も以下をご明記ください。
なお、窓口扱いの場合のみ手数料免除となります。

❶金額欄に募金額をご記入ください。

❷ご依頼人欄に以下をご記入ください。

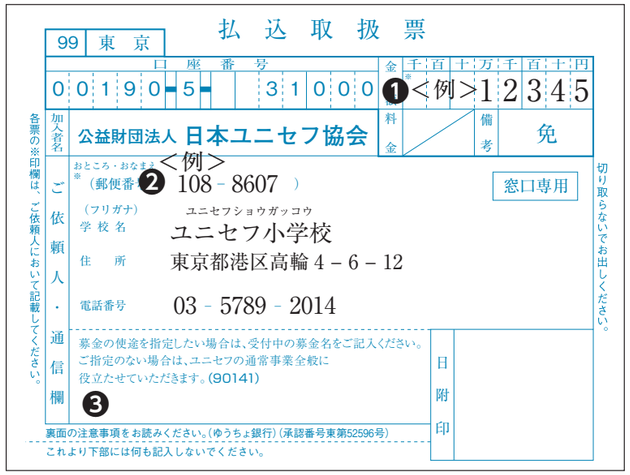
1. 学校名(領収書の宛名になります)
2. ご住所
3. お電話番号

※領収書の送付先を指定する場合は、ご担当者のお名前を書いていただくと、その方宛に送付されます。

❸通信欄で募金の種類を指定できます。

通常募金(ユニセフ募金)の場合は何も記載しなくて結構です。

募金の使途を指定したい場合は、受付中の募金名(ロヒンギャ、シリア、自然災害、アフリカ、人道危機など)を通信欄の余白にご記入ください。

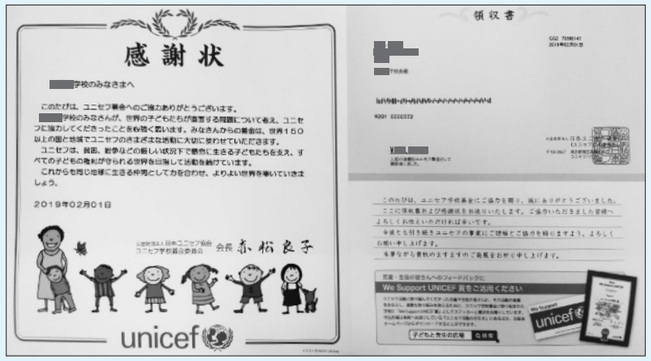


※受付中の緊急募金については、事前にホームページ上で必ずご確認くださいますよう、お願いいたします。
緊急支援情報：**www.unicef.or.jp/kinkyu/**
※支援ギフトの場合は、P.14の申込用紙でお申込みいただいた学校に専用の振込用紙をお送りします。

領収書と感謝状、「ありがとうポスター」をお送りします

募金の受領確認後、2週間程度で領収書および感謝状をお送りいたします。
また、A3サイズの「ありがとうポスター」も同封されますので、校内での掲示、全校集会等でのご報告にお役立ていただけますと幸いです。

※100円未満の募金の領収書発行はご容赦いただいております。
領収書が必要な場合は、お問い合わせください(学校事業部:03-5789-2014)。





※ポスターは昨年のものです。(今年のポスターはデザインが異なります。)

●活動に参加された児童、生徒のみなさんへのフィードバックに「We Support UNICEF賞」もご活用ください。(➡P.15「活動を終えてから」)

動画紹介

2020年度　ユニセフ学校募金　春季資料

ユニセフ DVD学習教材



1 人道危機下で暮らす子どもたちのために



(1分03秒) 字幕

「紛争や自然災害などの危機下で暮らす子どもたちが、どのくらいいるのか知っていますか?世界の4人にひとりです」ユニセフ活動に取り組む導入や、ユニセフ募金を呼びかけるための学習や集会などにオススメ。

2 長谷部誠大使 ロヒンギャ難民キャンプ訪問



(11分10秒) 字幕・日本語ナレーション

プロサッカー選手で日本ユニセフ協会大使の長谷部誠さんが、60万人ものロヒンギャの人々が暮らす世界最大の難民キャンプを訪問。「この問題を知り、支援の輪が広がってほしい」長谷部大使が語ります。

3 南スーダン:栄養不良から回復したアデュちゃん



(1分40秒) 字幕・日本語ナレーション

アデュちゃん（14カ月の女の子）は、マラリアと下痢の影響で食欲もなく、深刻な栄養不良（上腕の周囲10.5㎝、体重わずか6.5kg）になってしまいました。そんなアデュちゃんが栄養治療を受け、回復していくようすが分かる動画です。36秒のところで紹介されている栄養治療食は、100円で3袋分になります。

4 バングラデシュ:気候変動がうばったスマイヤちゃんのくらしと健康



(2分00秒) 字幕・日本語ナレーション

気候変動からもたらされた洪水で故郷を離れ、スラム街での生活を余儀なくされたスマイヤちゃん。栄養不足から消耗症に陥ってしまいます。消耗症の子どもは無気力でボーっとした状態（食欲もなく体の反応が低下した状態）になります。特に重症の乳幼児の場合は、むずがったり、泣いたりといった子どもの自然な反応を見せることなく、感染症であっという間に命を落とすこともあります。栄養治療をうけ、回復してくると笑ったり、何かを欲しがったり、泣いたり、“子どもらしさ”を取り戻していきます。

5 ブルンジ:すべての子どもに、安全な水を



(2分17秒) 字幕

リリアンさん（14歳）が川へ水をくみに行くようす、くむ水の状態が分かる動画です。彼女のように、池や川の水（地表水）を未処理のまま使わざるを得ない人は世界に1億4400万人（2017年時点）いると推定されています。

6 私たちの可能性~ザータリ難民キャンプ・障がいのある子どもたちのお話~



(6分20秒) 字幕

紛争が続くシリアからの難民が暮らす、ヨルダン・ザータリ難民キャンプ。障がいのある子どもも、厳しい環境の中での生活を強いられています。ユニセフは「誰ひとりとり残さない」ために、障がいのある子どもたちの意見を取り入れながらトイレの設置を進めています。

7 100円の旅



(1分58秒) 字幕

例えば100円の募金…その募金がどのように使われているのかを紹介するアニメーションです。募金活動の前や後に見ることで、ユニセフ募金について理解を深めることができます。

8 世界に広めよう「持続可能な開発目標(SDGs)」Ⅲ



(4分37秒) 字幕・日本語ナレーション

国連の「SDGs（持続可能な開発目標）」を達成するために、私たちひとりひとりにできることがあります。まずは身近なところから、そして地域へ。ひとりの力は小さくても、みんなが行動を起こせば、大きな変化が生まれる可能性が広がります。

9 ユニセフと地球のともだち



(13分23秒) 字幕・日本語ナレーション

ユニセフと世界の子どもたちの現状について基礎から学ぶことのできる映像です。社会科の授業で国連やユニセフについて学習する際や、ユニセフ活動に取り組む前の学習にオススメ。

ユニセフ親善大使のメッセージ

10 子ども兵士だったぼく ~人生を取りもどすために~



(2分34秒) 字幕

1991年～ 2002年まで内戦が続いたシエラレオネ。13歳の時に子ども兵士にさせられた**イシュマエル・ベアさん**は、同じように厳しい経験をした子どもたちのために活動しています。

11 難民キャンプから始まった私の旅 ~教育の大切さを伝える~



(2分49秒) 字幕

14歳のとき、紛争が続いていたシリアから家族でヨルダンに逃れ、難民となった**マズーン・メレハンさん**。難民キャンプで教育の大切さを伝える活動を始めた様子を語ります。

unicef

for every child



今年もWe Support UNICEF賞をお贈りします。
ぜひお申し込みください。詳細はP.15をご覧ください。

公益財団法人
日本ユニセフ協会

〒108-8607
東京都港区高輪 4-6-12 ユニセフハウス
03-5789-2014 03-5789-2034
se-jcu@unicef.or.jp
www.unicef.or.jp

2020年4月 発行